



豊川用水通水50周年記念

水がつなぐ地域の絆

発見!! 豊川用水

TOYOGAWA
CANAL 50th
1968-2018



豊川用水通水50周年記念事業実行委員会

(事務局) 独立行政法人 水資源機構 豊川用水総合事業部

〒440-0801 愛知県豊橋市今橋町8番地

Tel.0532-54-6501

豊川用水

検索



名二環

東海環状自動車道

豊川用水MAP

愛知県と静岡県の山の中から、三河湾岸、太平洋岸まで流れる豊川用水。水を貯め、取り込み、送る施設のまわりには、いろいろな文化や歴史、自然があります。水とともに、地域を発見してみましょう。

名古屋南JCT

武豊線

名鉄名古屋本線

名鉄西尾線

JR東海道本線

岡崎IC

岡崎東IC

駒場池

蒲郡調整池

音羽蒲郡IC

西部幹線水路

豊川IC

松原用水路

大原調整池

三ツ口池

牟呂用水路

東三河工業用水道

三河湾

万場調整池

豊橋総合動植物公園

芦ヶ池調整池

東部幹線水路

湖西工業用水道

初立池

電照菊

伊良湖岬

太平洋

農業用水受益区域(田・畑)
水道用水供給区域



06 ええじゃないか豊橋伝播隊
DOEEと一緒に巡る
豊川用水の旅



12 いつだって、水は暮らしのそばにある。
みんなの街を元気にする豊川用水



26 地域をうるおし、社会を支えた半世紀。
豊川用水の「今まで」と「今」

34 豊川用水を支える、水の守人として

40 水源の森へ感謝を込めて。
大切に守りたい豊川用水のふるさと

44 沿線スーパーガイド

54 食を楽しむ

56 大好きな居場所と出会った若者たちの、
山里の暮らしINTERVIEW

62 ぼくらの世代が受け継ぐ水。
新しい時代に向かって流れる
豊川用水

66 豊川用水を知る 基礎知識



■取材協力(敬称略・順不同)

ええじゃないか豊橋伝播隊DOEE、豊橋PRユニット
企画運営協議会、豊橋観光コンベンション協会、豊川市
観光協会、蒲郡市観光協会、渥美半島観光ビューロー、
新城市観光協会、設楽町観光協会、東栄町観光まちづく
り協会、茶臼山高原協会、豊根村観光協会、蒲郡商工会
議所、寺谷用水土地改良区、磐田用水東部土地改良区、
浜松土地改良区、愛知県立渥美農業高等学校、JA
豊橋、JAひまわり、JA蒲郡市、JA愛知みなみ、JAと
びあ浜松、愛知県東三河水道事務所、豊根森林組合、
豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、新城市、設楽町、東
栄町、豊根村、湖西市、愛知県、静岡県

■参考文献

- 豊川用水 水の流れとともに25年 豊川用水通水25周年実行委員会
- 新・種を蒔く人 高崎哲郎
- 今昔物語 近藤寿市郎
- ふるさと再発見ガイドブック知るほど豊橋その三 流れ悠々四十年。
豊川用水 豊橋市広報広聴課

■企画・編集・発行/豊川用水通水50周年記念事業実行委員会

取材・執筆/公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会
デザイン・DTP/graphic design ANOTHER 朝倉泰子
写真撮影/松本幸治・永田修
印刷/共和印刷株式会社
発行/2018年9月29日

豊川用水を知る。
地域の未来が見える。

奥三河から太平洋まで
地域をつらぬいて流れる豊川用水。
長い時間を超え、多くの人の夢を
未来へ運んできました。
構想から約50年をかけて完成、
そして念願の通水。
地域を潤し続けるその存在は
いつしか時の中にうずもれ、50年過ぎた今、
意識したことがない世代も増えています。
だからこそ知らせたい、
豊川用水と沿線地域の今とこれから。
豊川用水を再発見すれば、
地域の新しい姿が見えてきます。



ええじゃないか豊橋伝播隊

DOEEと一緒に巡る 豊川用水の旅

発見って、ワクワク。知らなかった世界が見えてきます。
発見って、ドキドキ。見えてなかったものがココロにひびきます。
通水50周年を機に豊川用水に沿って旅した、発見満載の見学記!!



私たちが行って来ました!

2	1
3	
5	4

1. 農業用水の効果で日本有数の農業地帯に成長しました。2. 宇連ダム。2842万立方メートルの水が貯められます。3. 万場調整池。豊川用水の中でもっとも大きい調整池です。4. ダム湖のスケールは壮大です。5. 東部幹線の終点には初立池があります。



ええじゃないか豊橋伝播隊 DOEE

豊橋市シティプロモーション推進計画の取り組みとして、若い世代に向けて豊橋の魅力を発信するためのユニット。総勢18名のメンバーがダンスと歌で街を元気にします。

- DOEEリーダー 加藤 美咲さん
- DOEEサブリーダー 加藤 恭代さん
- DOEEメンバー 三浦 杏佳さん

TOUR MAP

奥三河の宇連ダムから渥美半島の初立池まで、豊川用水東部幹線をDOEEのメンバーが3人旅。水を管理する独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部の職員にお話を聞きながら、7か所を巡りました。水ってこんなふうが届くんだ。いろんなことを知って、学んで、充実のトリップ。水に抱く気持ちが変わってきそうです。



02



ダムには高度な技術が使われているよ。

ダム湖は水を貯めるために造られた湖だけど、訪れる人に癒やしも与えてくれる。これも水の力の一つなんだね。



(右)大島ダムのダム湖。朝霧湖の名がついています。
(左)大島ダムには小水力発電の施設もあります。

大島ダム おおしまだむ

宇連ダムと連携して運用される豊川用水第2の水がめ

農業用水と水道用水を安定して供給するために造られたダムで、豊川用水第2の水源地です。
ダムの上流に降った雨を貯め、大島川に流して下流の大野頭首工で取り入れます。



完成してから60年の間に、ダムも自然の一部になったみたい。

大野頭首工 おおのとうしゅこう

ダムから流した水を取水する豊川用水の入口です。

新城市大野地区にある水の取り入れ口です。宇連ダム・大島ダムと佐久間ダム地点から放流された水を取り入れます。最大で1秒ごとに30立方メートルを取水することができます。



大野頭首工は桜の名所。たくさんのお花見客が訪れます。



水に映える桜は本当にきれい。水を取り入れる施設としてだけでなく、水辺を楽しむ場所としても親しまれています。

03



風景を見るだけでも風を感じる価値あり。

(上・下左)必要な分だけ、水を取り入れます。(下右)この水路が、下流域の受益地にきれいな水を届けます。

01

宇連ダム うれだむ

ここが豊川用水の起点。すべてはここから始まります。

豊川用水の主な水源となっているダム。豊川の支流・宇連川にあります。農業用水、工業用水、水道用水を供給する目的で建設されました。コンクリートでできたダム自体の重さで水圧に耐える重力式コンクリートダムです。



(上)宇連ダムの堤の高さは65メートル。眺めも爽快。
(中)広々としたダム湖の景色に心も潤います。(下)大きなダムは見るほどにすごい。スケール感が非日常的。



豊川用水初のダムカレーとして2017年に登場!



宇連ダムをイメージしたきのこカレーと大島ダムをイメージしたグリーンカレーを向かい合わせた「鳳来ダムカレー」。愛知県民の森レストラン「しゃくなげ」にていただけます。



ダムの堰堤の高さにびっくり!こんな大きな建築物を造り上げた高い技術と、携わった人々の熱意にも感動しちゃう!





万場調整池 ばんばちょうせいち

500万立方メートルの水を貯められる、豊川用水最大の調整池。

南北362メートル、東西1032メートルの巨大な調整池。水深は最大で20メートルもあります。低地を掘削して造った平地ダム。周囲には遊歩道などがあります。



この水が地域を潤すんだね。

(上右)写真には写りきらない大きさ。晴れた日はとてもきれい。(上左)吹き抜ける風が、水辺ならではの爽やかさを運びます。(下)人工の池だとは思えない穏やかな雰囲気ちょっと不思議。

06

見渡す限りの水に圧倒されてしまいそう。池の地下には管理用のトンネルが通っていて、池を一周できるんだって。



初立池 はつたちいけ

ダムから98キロメートル。渥美半島先端にある豊川用水東部幹線の終点。

緑に囲まれた美しい池。渥美半島の農地に水を供給しています。

池の周囲は公園として整備され全国の約21万あるため池の中から「ため池百選」の1つに選ばれました。

豊川用水を巡ってみて新しい世界が広がりました!



07

ダムから流れてきた水は、無駄がないよう使われ、この池までやって来ます。水の旅はここで終わるんだね。



(上)ウォーキングの人も訪れる池のほとりの公園。芝生もきれい。(下)春から初夏にかけては、サクラやハナショウブ・アジサイが咲くなど憩いの場となっています。

二川サイホン入口 ふたがわさいほんいりぐち



道路や鉄道の下に管水路を通してぐり抜けるサイホン。

動力を使わず、自然の力だけで

水を下流まで流す豊川用水。

サイホンは、入口より出口を低くし、

鉄道などを避けいったん地下深く

通して地上に戻す水路です。

04



二川サイホンは国道1号や東海道新幹線の下もぐっているんだって。線路の下に水路があるなんて不思議!

(右)この水が道路や田畑、川などの下をぐります。(中)豊橋市雲谷町の二川サイホンの入口「二川チェック」(左)静かな水路にも、高い技術が隠されているのです。

高い技術と発想に驚かされるね。



二川サイホン出口 ふたがわさいほんでぐち

入口と出口の高低差5メートル。地下から駆け上がる水の流れ。

入口から約2.8キロメートル

地下をぐり、地上に出て来た水。

水路が突然消え、また現れたような

印象を受けますが、地下を長く

流れてきたのです。

地上に水路が出現!この水はどこから来たの?と考えると、見えないところにも水が流れているんだね。



色々な技術が用水を支えている。



(右)二川サイホン出口を抜けると、水が地上に姿を現します。(左)水路を流れる水が地下を通って来たなんて信じられない。

05



生活 × 水



工業 × 水



農業 × 水

産業 × 豊川用水

いつだって、
水は暮らしのそばにある。
みんなの街を元気にする
豊川用水。

西は蒲郡市、東は静岡県湖西市、
南は渥美半島の先端までの
最長約100キロメートルを、およそ1日かけて旅し、
多くの人々に水を供給する豊川用水。
水は、日常のさまざまなシーンとともにあります。
農地、街の仕事場や家庭等で、
水はどのように使われているか、
水を使う現場から、働く人と水との関係を伝えます。

輪菊 × 水

日本を代表する名花・輪菊。
緻密な水コントロールで美しく咲く。

田原市 / 小久保 卓積さん ● 輪菊農家



セレモニーに欠かせない花、菊。渥美半島は、全国一の産地として知られています。小久保卓積さんは、菊農家3代目。家族4人で農業に取り組んでいます。「菊は挿し芽で増やす花です。温室に挿した直後にた

くさんの水を使います。芽を挿してすぐにたっぷり水をやり、マルチ（農業用のビニール）をかぶせます。芽が活着したらマルチをとり、菊の生長に合わせて水をやっていきます。」と、小久保さんと、小久保さん。菊は、『手をかければかけただけ美しい花を咲かせる』と、生産者や愛好家たちの間で言われるほど繊細な植物。小久保さんも、常に目を離さず、菊の言葉に耳を傾けるようにして、大切

に育てています。「芽を挿してから花が咲き始めるまで95日から110日くらい。その間、丹精込めて世話をします。いつでも使える水があるから、安心して作ることができますね。」菊を作って50年あまりになるという小久保さん一家。菊を始める前は、メロンや露地野菜などを育てていたそうです。「私が生まれた時は、もう菊を作り始めていたので、それ以前のこととはあまり聞いたことがないんです。渥美半島の施設園芸は、水が安定して供給されなければ成り立ちませんから、通水前は大変だっただ

ろうと思っています。」身近にありすぎて気づかない相棒：小久保さんにとって豊川用水はそんな存在かもしれません。「渇水になると、用水の存在をいきなり意識します。水がなくなったら本当に困る。あたりまえがあたりまえじゃなくなったら、そのありがたさがわかりますね。普段は意識しないけど、なくてはならないもの、それが豊川用水。これからは水の力を借りながら、きれいな菊を届けたいと思っています。」



見た目も愛らしいブルーベリー、ブラックベリー、ラズベリー、金色に輝くはちみつ：どれも、自分が食べて『おいしい!』と思ったものばかり。今年で就農7年目、徐々に栽培する作物の種類を増やしなが

ら農業に取り組んでいます。「ベリーとはちみつからスタートして、今ではジャガイモ、サツマイモ、小麦、葉物野菜などを作っています。自分が作りたいものを少しずつ栽培して売れるスタイルが基本です。」と、榎本佐和子さん。借り



ベリー × 水

好きな物、おいしい物を少しずつ丁寧に。
つくる人、食べる人の心のつながりが見える。

豊川市 / 榎本 佐和子さん ● ベリー農家・養蜂家

一人で耕しています。「豊川用水はベリーと野菜の畑で使っています。昨年からは、ブルーベリーの養液土耕栽培を始めたのですが、生育もよく、品質も安定してたくさんとれました。きれいな水を安心して使えるのはありがたいですね。」養蜂（ようほう）では、西洋ミツバチ50群（巣箱50個）前後を飼っており、「春はれんげや菜の花、夏はひまわり、秋はコスモス、その他に近くの神社のクロガネモチ、そしてもちろんベリーなど、様々な花から蜜をとってくるので、季節に応じて味が変化するの



が楽しいですよ。」収穫したベリーやはちみつなどは、地域の商業施設やお店、直売所などを中心に販売しています。「今は通販が流行っているけれど、私ができるだけ人の息づかいの聞こえる範囲に出荷したい。本当は一つの作物をたくさん作って販売する方が利益になるでしょうが、一軒くらいこんな農家がいってもいいんじゃないかな。」



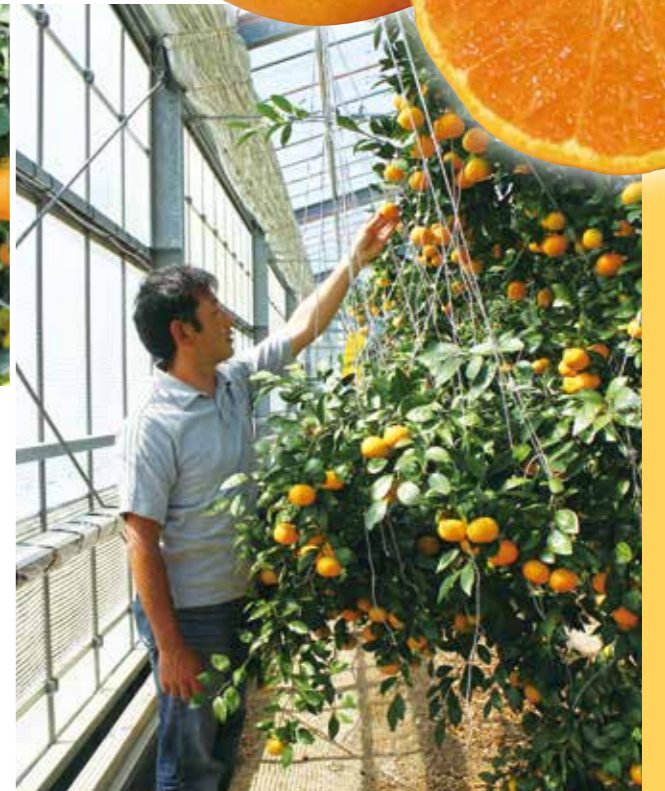


みかん × 水

小さな産地が育む大きなおいしさ。
品質日本一を目指して奮闘中!

蒲郡市 / 尾崎 裕幸さん

●みかん農家



みかんの産地として知られる蒲郡市。面積は小規模ですが生産者の技術が高く、品質日本一を目指して活発な農業経営が行われています。
「昔は温州みかん一本でしたが、今では、1年中さま

ざまな柑橘類をつくることができようになりました。春夏は温室みかん、冬は露地みかん、年明けは中晩柑と、切れ目なく出荷できるので安定した経営ができます。」
と、尾崎裕幸さん。露地栽培3代目、温室は2代目、生粋のみかん農家です。
「豊川用水の通水をきっかけに温室みかんを作り始めました。今では温室が主力です。」

温室みかんは、露地のみかんより収穫が約半年ずれるよう育てられます。4月からお盆頃までが収穫時期。もともと水が必要なのは消毒の時で、1反につき1000リットル以上を使うそうです。
「みかんは水のコントロールが難しい作物です。常に葉や果実の状態を見ながら適正な水管理をしなければなりません。調整を細かくできるのが温室栽培の良いところ。果汁分析をしながら水をやるタイミングをはかり、一番おいしい状態で収穫できるように努力しています。」
それだけに、水に対する感謝の気持ちはひとしお。バルブをひねると出てくる水は、かけがえのない存在だと常々感じています。



「時々考えることがあります。大災害が起きて豊川用水が壊れたらどうなるのかな、と。温室は倒れても建て直せるけれど、水がなければ木は死んでしまいます。みかんの木は、最高の状態になるまで25年くらいかかりますから、今ある木が全部枯れてしまったら、農家としてやってはいけません。私にとって、水は「大切」以上のもの。災害対策をしっかりして、豊かで強い豊川用水であり続けてほしいと思っています。」



全国有数のセロリ産地、静岡県湖西市。杉浦智景さんは、父・初男さん、息子・正樹さんの3世代でセロリ栽培に取り組むベテラン生産者です。
初男さんが、ビニールハウスを使ったセロリ栽培を始めたのは、豊川用水通水

直後。通水前は、漬物用のダイコンやでんぶん加工用のサツマイモなど、水が少なくても育ちやすい作物を露地で作っていました。「水が来るまでは、天気次第の不安定な農業。サツマイモの苗を植えるにも、空とにらめっこしながら



セロリ × 水

水源地の人々に感謝を込めて。
親子孫3世代で取り組むセロリ栽培。

湖西市 / 杉浦 初男さん、^{あかけ}智景さん、正樹さん ●セロリ農家



の作業だった。雨の中、家族全員で農作業をした覚えもあります」と、初男さん。智景さんが跡を継いだ時には、通水前の苦労は既に昔の話になっており、
「水は、バルブをひねれば出て来る存在。大切なものではあるけれど、あってあたりまえ、若い頃は、そんな感覚でした。」

そんな智景さんが水を意識し始めたのは、農協の役を務めるようになってから。宇連ダムなど水源地を見学に行く機会があり、「水は、水源地の人々が大切に守り、下流に送ってられていることがよくわかりました。それからは、水を一滴も無駄にできないと思うようになりましたね。」
以来、インターネットを通じてダムの貯水量を確認し、ハウスの中に水をまく度に、水源地に気持ちを寄せる毎日です。

「水がなければ農業は成り立ちません。特に施設園芸農業では、水は生命线です。豊川用水がなければ、おいしいセロリは作れない。きれいな水を送ってくれる水源地の皆さんに心から感謝しています。」



「実は、私はキャベツにはあまり水をかけないんですよ。以前は、植えつけの時には、午前中に苗をとった後には植えて、すぐに水を与えていましたが、今は、苗をとったら冷蔵庫で保管し、土と天候の具合が良いタイミングをねらっ



て植えています。植えた後にはほとんど水をかけません。」
と、いきなり驚きの発言をするのは、豊橋市東細谷町の鈴木健示さん。キャベツ栽培はお父さんが始め、鈴木さんは農業に入ってからずっとキャベツを育てて

キャベツ × 水

工夫を凝らしておいしい野菜を食卓へ。
収益アップも図り、やりがいのある農業を。

豊橋市 / 鈴木 健示さん ●キャベツ農家

きました。いわばキャベツのエキスパートです。
「最もたくさん水をを使うのは、種をまく時です。普通は種をまいてから水を与えますが、私は種をまく前、何も植えられていない畑に水をかけます。1週間くらい晴れた日が続くと、土の中の水分が少なくなります。それを補うために豊川用水を使って水分を畑の中に入れるんです。何も植えていない畑にじゃあじゃあ水をやるなんて、水を無駄にしているように見えるけれど、種まきの大事な準備なんですよ。」



雨の状態を見ながら、必要に応じて用水を使う。それが鈴木さんのやり方。水のコントロールには常に気を使っています。
「天気予報をこまめにチェックするのはもちろんですが、雨の量はピンポイントで異なるため、自宅に簡単な計量装置を作って、自分の家で雨がどのくらい降ったかをチェックしています。今回はこのくらいの雨が降って、その後、晴天が何日続いたから、畑はこういう状態だろうという推測をし、農作業の計画を立てています。現状に満足せず、できる限りの工夫をして収益を上げていくのも、生業として大切なこと。安定して供給される水を有効利用して、やった分だけ利益が上がる農業をしたい。それがモチベーションにつながると思います。」

ボンボンのように丸い形のもの、花びらが大きく開いた華やかなもの…形はバリエーション豊か、色合いも多彩なスプレーマム。アメリカ生まれの洋菊ですが、日本で最初に栽培を始めたのは愛知県豊川市。現在でも、多くの農家



さんは、菊農家3代目。家族でスプレーマム栽培をしています。
「マムは水をたくさん欲しがる作物です。常になつづり与える必要がありますが、湿度には弱い。水はけが悪く、土が常にビタビタだと、酸欠状態になってし

がスプレーマムを作っています。
「フラワーアレンジメントの脇役としても使われていますし、仏壇やお墓に供える仏花としても重宝されています。生活のあらゆるシーンで見られる花です」

と話す山田裕也

スプレーマム × 水

愛らしい姿は微妙な水管理が支える。
家族の笑顔のかたわらで咲く花。

豊川市 / 山田 裕也さん ●スプレーマム農家



まうんです。そのため、水を適正に与えるためには、すくく気を使います。
水やりはタイマーを使って行いますが、こまめに調節して、もっとも良い状態を作り出すよう努力しています。
現在34歳。生まれる前から豊川用水があつた世代です。以前は、水は畑でバルブをひねれば出てくるもの、そう感じていました。しかし最近、豊川用水を含まない水が、
「実は大学時代、森林と川について勉強したことがあるんです。小さな流れが集まってどういう形で川になるか、一本の川ができるのに、どれだけの森林面積が必要なのか、なども興味深く学んだことを覚えています。そんな経験から、水の源である山々のこと、水源地から豊川市まで続く地質や地形のことなどを調べてみたいと思うようになりました。マムの栽培に適した水はけのよい砂地も、奥三河の山や、そこから生まれた豊川があつてこそできたもの。そうしたことをつらつら理解し、消費者の皆さんにも伝えていければ嬉しいですね。」



建材 × 水

木材の品質を守る工業用水。
笑顔が集まる我が家づくりに貢献。

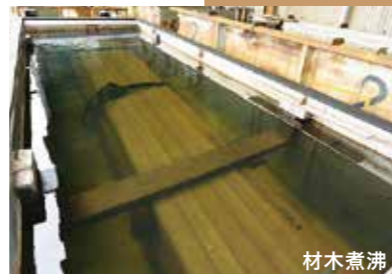
豊橋市 / 内藤 亘さん(右) ● 株式会社ウッドワン

豊橋工場は、原材料から製品ができるまでの全ての工程を担う、社内唯一の一貫工場です。私の仕事は、フローリング材の最後の仕上げ。板を貼り合わせて作った基材に、化粧単板という薄い板を貼って加工塗装し、完成品を作っています。化粧単板の材料になるのは、国産のケヤキやヒノキ、ツガなど。角材のかたちで仕入れ、工場の敷地内で24時間、水をかけながら保管しています。木材は乾くと割れてしまうので、適度に湿った状態を保つ必要があるんです。さらに、化粧単板をスライスする前には、高温のお湯で煮沸しま

す。そうすることで、木の繊維が柔らかくなって、つやのある、すべすべしてきれいな単板がとれます。煮沸の時には、水の色が木の色に影響することがあるので、常にきれいな状態に保っています。豊川用水は透明度が高いので、安心して利用できます。入社して4年、だんだん木の良し悪しがわかるようになってきました。生命あるもので製品を作っているのですから、木への感謝を忘れず、高い品質の製品を社会に提供していければと思っています。これからも、木と真摯に向き合い、スキルを積んで成長していきたいですね。



材木置き場



材木煮沸



玄関のかまち

02

Company Profile

株式会社ウッドワン
WOOD ONE Corporation

木を使った住宅用の建材の会社。豊橋工場では、フローリングをメインに壁材や「かまち」と呼ばれる玄関回りの化粧材などを製造しています。



01

Company Profile

藤浜染工株式会社
Fujihama Dyeworks Corporation

天然素材から最先端の化学繊維まで、どんな糸でも染める色のエキスパート集団。蒲郡市の伝統産業である繊維産業を支えています。染められた糸は、カーテンや洋服、自動車のシートなどいろいろな分野で活用されています。



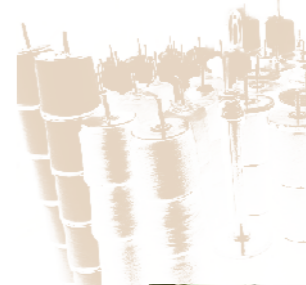
染色 × 水

社会の中に美しい彩りを加える。
繊維のまち蒲郡を支える豊川用水。

蒲郡市 / 藤田 洋一郎さん(左) ● 藤浜染工株式会社

染色の仕事にとって、水はかけがえのない存在です。糸を染める前に水で洗い、染めの工程では水の中に染料などを入れて蒸気で熱して染めていきます。染め上がった後、余分な染料や薬品を落とすためにまた洗います。水がなければ私たちの仕事は成り立たないと言えるほど水を使う仕事ですから、万が一止まった時に困らないように、敷地内のタンクと地下に常に500トンをとめています。この水は、工場ですらだけでなく、地域内で火事起きた時にも使えるようになっていきます。会

社を支え、地域の助けにもなる役割を担う水ですから、きちんと管理している。でも使えるよう心がけています。繊維のまちとして発展してきた蒲郡。昔は、市内にたくさん繊維関連工場があり、糸から布まですべて蒲郡の中で作ることができましたが、今では数社に減ってしまいました。でも、繊維産業は蒲郡にとって重要な地場産業。大切な水を無駄なく使って、繊維産業を若い人たちに手渡していきたいと思ひ、誇りを持って日々の仕事に向かっています。



染色をする釜



染める前の糸



染め上がった糸

自動車部品 × 水

モーターの力で安全・快適なカーライフを応援。生産現場を支えるエネルギーのエキスパート集団。

湖西市 / 甚沢 孝典さん ●株式会社デンソー 湖西製作所

Company Profile

株式会社デンソー 湖西製作所 DENSO Corporation Kosai Plant

自動車用小型モーターシステムの開発・製造・販売を通じて安心快適なカーライフの実現に貢献。ワイパーやパワーウィンドウをはじめ、自動車の基本性能である「走る・曲がる・止まる」といった部分にもデンソーのモーターが使われています。



04



作業風景

私が所属する施設動力課は、工場です。水や蒸気などのエネルギーを供給する部署です。工業用水は、主に冷却、洗浄に使うほか、雑用水などにも使っています。私が担当しているのは、ポンプやボイラーなどのメンテナンス。いろいろな機械にふれることができるのが興味深いところです。今は、担当する設備だけでなく、全体を見ながら仕事ができるようになりたい。また、さまざまな技術が必要とする職種なので、しっかりと勉強してできるだけ多くの資格をとりたいと思っています。毎日成長をモチベーションに、積極的に仕事と向き合っていきたいですね。

テープ × 水

多彩な粘着技術で日本の製造業をサポート。テープを使って仕事と社会をくっつける。

豊橋市 / 尾崎 翔太さん ●日東電工株式会社

Company Profile

日東電工株式会社 Nitto denko Corporation

粘着テープや各種フィルムを製造する会社。多彩な機能を持ったテープやフィルムは、身近なものから特殊なものまで、社会のいろいろな分野で活用されています。



05



工場の外観

粘着テープは、基材にさまざまな性質を持つ粘着材(のり)を塗り、乾燥オーブンという機械で乾かして作ります。工業用水は、この工程でボイラー用水として使っています。私の仕事は、水を送るポンプの管理。年に1度の定期点検のほか、必要に応じて修理も行っていきます。点検は、生産現場の状況に合わせて、計画を立てて行います。点検中は、関連する現場で水が使えなくなるので、その調整が難しいところです。今、入社7年目。これからは機械の改善業務にも取り組みたいです。今までの経験を土台に、キャリアアップを目指してがんばります。

03

Company Profile

プライムアース EVエナジー株式会社 Primearth EV Energy Co.,Ltd.

電動車の主流となりつつあるハイブリッド車。その心臓部とも言えるニッケル水素バッテリーやリチウムイオンバッテリーを製造する会社です。



バッテリー × 水

環境にやさしい自動車を支える工業用水。水源から世界の国々へ流れゆく。

湖西市 / 國武 正明さん(右) ●プライムアースEVエナジー株式会社
白井 友洋さん(左)

私たちがとって工業用水は、大切な製品の源です。私たちが作っているバッテリーには、電解液という液体が使われていますが、豊川用水はその原材料として使われているのです。電解液は、電気を起こす仕掛け人のようなもの。プラス極とマイナス極の電気の通り道の役目を果たします。電解液は、工業用水を純水に変換し、薬品と混合して作ります。豊川用水の水は、透明度が高く異物も少ないため、フィルターで異物を取り除いてそのまま使えるので安心です。電解

液を使って製造されたバッテリーは、最先端の自動車に搭載され、日本だけでなくヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、中国などへ飛び出していきます。豊川用水は私たちの工場が終点ではない。1滴の水が、ここから世界へ流れていく。そう考えると、夢が広がります。自然環境に関わるものを作っている会社ですから、水を始めたとしたエネルギーを大切に、クリーンに使って、地球にも地域にもやさしい企業でありたいと思います。社員一同心をひとつにして、日々の仕事に取り組んでいます。



本社工場



製造風景



バッテリー完成品



家庭を支える水



ふだんの生活では気づかない、
水質の良さに感謝。

豊橋市／主婦 白井 郁子さん

「生まれも育ちも豊橋だから、水道の水がおいしいかどうかなんて考えたことがありませんでした。でも、関東に引っ越した友達から『水道の水を飲んだら、まずくてびっくり！とても飲めたものじゃない。豊橋だったら浄水器を使わなくても普通に飲めたの。』と聞いて、この地域の水道の水質が良いことを初めて知りました。うちは浄水器を使っていましたが、浄水器の水も元々は水道の水。きれいな水をさらに浄化して使っているんですから、安心ですね。」



20年、旦那様と息子さんの3人暮らしです。
「母が水の使い方や気を配る人で、植木や花壇の水やりにも、雨水を貯めて使うほどでした。私も、食事の支度だけでなく洗濯でもお風呂でも、水を無駄なく使うよう教えられました。水は大事にする方だと思えます。湯水の年などはダムの状況もチェックして、できるだけ節水に協力するよう努めています。家庭の水道は、豊川用水の最後の出口。感謝しながら水を大切にしたいですね。」



高速凝集沈殿池

生活に貢献する水



きれいでおいしい水を家庭へ、
学校へ、病院へ。

豊橋浄水場長 小林 俊明さん ●愛知県東三河水道事務所 豊橋浄水場

豊川用水は現在、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市の5つの市に水道水を提供しています。このうち、田原市ではそのほとんどが、蒲郡市ですべてが豊川用水を水道の水源としています。地域全体では、豊川用水を水源とする割合は約70%。地域内には3つの県営浄水場があり、各市の配水池へ供給したのち、各市の水道事業者から家庭や学校、病院などへ届けられます。「浄水場では、豊川用水の水路から取り入れた水を、安心して飲めるよう処理して地域の皆さんのもと



排泥池



豊橋浄水場

に届けています。豊川用水は水質がよいため、通常時は、凝集沈殿、急速ろ過、消毒処理をただけでおいしく飲めるようになります。」と、豊橋浄水場長の小林俊明さん。豊橋浄水場からは、豊橋市、豊川市、新城市に水が供給されています。「水道水は、時間単位の水の需要に合わせて調整して送られています。24時間365日安全な水を送れるよう、職員一丸となって努力しています。水は、生活を支えるかけがえのない存在。これからも大切に守っていききたいですね。」



地域をうるおし、社会を支えた半世紀。

豊川用水の

1968年、人々の熱い期待を受けて生まれた豊川用水。

今では、その存在を知らない世代も増えてきました。

水は流れてくる。だけど、どこから来るのかはわからない。

水を使っている。だけど、どこでどう活かされているかは知らない。

それがあたりまえだと、多くの人が感じていました。

建設に携わった人たちはどんな思いで豊川用水を造ったのか。

そして、どんな思いで水を守り、使ってきたのか。

昔を学び、今を旅して、豊川用水を再発見すれば、

きっと、地域の「これから」が見えてきます。

「今まで」と「今」。





豊かな実り



安定して使える水



機械化された農業



芋の苗差し



桶で水くみ



牛を使つての農作業



近藤寿市郎さん

50年前に誕生して以来、沿線に暮らす多くの人々の毎日を豊かにしてきた豊川用水。東三河地域と湖西市に生命の水を供給してきた。ダムから続く幹線水路は最長約100キロメートル。それにつながる支線水路を含めると約3000キロメートルの水の流れが、網の目のように地域の中を巡っています。畑に、工場に、家庭に、そして学校や病院にも。人が働くところ、生活するところには必ず水がある、いつでも水が使える。そんな「あたりまえ」を支え、地域の安心の礎となっています。

天候に左右される

厳しい農業

通水前の生活

昨日も今日も雨が降らない。晴れた空をうらめしく見上げる人々がいました。サツマイモの植え付けの準備ができていないのに、畑はカラカラ。ため池や井戸の水ではとても足りないのです。水田が少なく、栽培できるのは水不足に強い作物だけ。白いごはんは、特別な時しか食べることができません。「半農半漁の貧しい生活でした。浜にいる兄に弁当を持って行っても、弁当箱にはサツマイモと少しのおかずが入っているだけ。畑

で着工に至りました。構想の誕生から28年。豊川用水計画はようやくスタートを切ったのでした。

知恵と力で進めた

大事業

豊川用水の工事

事業が始まってからも、様々な問題がありました。戦後の混乱の中で工事はなかなか進まず、予算もまったく足りません。1954年度には、予算がゼロになってしまいました。この時は、近藤さんを始めとする地域の人が大あわてで東京へ陳情に出かけ、また、地元選出の国会議員・八木一郎さんが熱意を込めた演説をして、なんとか予算を獲得しました。多くの人が冷や汗をかいた一件となりました。その後、新しい法律を作って豊川用水の事業費を特別会計

運んでいるのは「しあわせ」です。
50年の歴史を流れる豊川用水の横顔

TOYOGAWA CANAL 50TH 1968-2018

仕事有一段落すると、母がうどんを作ってくれるのが楽しみでした。」と話すのは渥美半島出身の80代の女性です。「水が欲しい。田畑を潤す水さえ手に入れば、落ち着いた生活が送れるのに。」豊かな水を得ることは、水が少ない地域の農家の切実な願いだったのです。

貧しい農家の

生活を救え！

豊川用水構想の誕生

そんな厳しい暮らしをなんとか変えたいと思っっている人がいました。渥美半島

の高松村(現・由原市赤羽根町高松)出身の近藤寿市郎さん。国会議員や豊橋市長を務めた政治家です。1921年、ジャワ(現・インドネシア)を視察した際に見た先端的な水利用に心を打たれ、日本にも取り入れられないかと考えつきました。「鳳来寺山脈に大きな堤を造って水を貯め、渥美半島の先端まで流せないか。」帰国後、さっそく計画をまとめ、愛知県議会に提出しましたが、壮大すぎる計画だと笑われてしまいました。しかし、近藤さんはあきらめず何度も提案。賛同する人も増え、1949年、国の事業とし



万場調整池



大野頭首工



駒場池

とするよう運動し、1958年度から特別会計で事業が進められることとなりました。最終的には、愛知用水を造るために設立された団体「愛知用水公団」に事業が継承され、急ピッチで工事が進められて、1968年、全面通水しました。

地域の成長を

土台から支える

豊川用水の効果

様々な問題を一ツツクリアしながら完成した豊川用水。通水直後から、受益地の産業と暮らしはどんどん豊かになりました。特に大きく変わったのは農業です。水不足から解放された農家は大成を遂げます。温暖な気候と大都市に近いという立地を生かし、キャベツや施設園芸によるトマトなどの野菜、切り花の菊、洋ランや観葉植物を中心とする



宇連ダム

鉢物などの花き栽培では全国トップクラスの生産量を誇るようになりました。価値の高い作物を栽培するようになり、農家の暮らしはぐんぐん良くなっています。また、水質が良く、安定供給される工業用水のおか

げで大企業の進出が進み、若い世代が働く場も増えました。節水の心配も少なく飲み水や生活用水も安心して使えます。豊川用水の水は、受益地の暮らしを潤し、みんなのしあわせを土台から支えているのです。

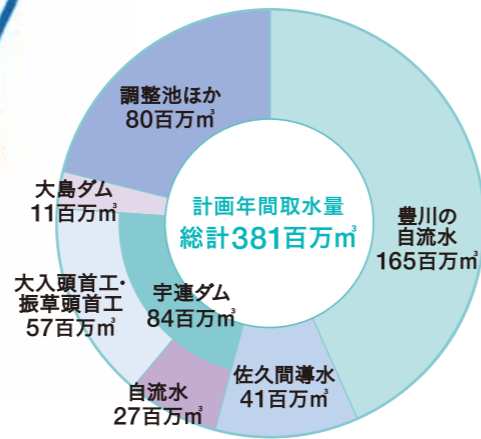
豊川用水配置図



水に利用されています。トンネルや水路橋などを使って約14キロメートル先の宇連川支流・亀淵川まで水を導いています。佐久間ダムからの水は、一定の条件の下で取

水できます。佐久間ダムからの取水は、計画年間取水量の11%、宇連ダムの約1.4杯分にもなりません。

豊川用水の水源

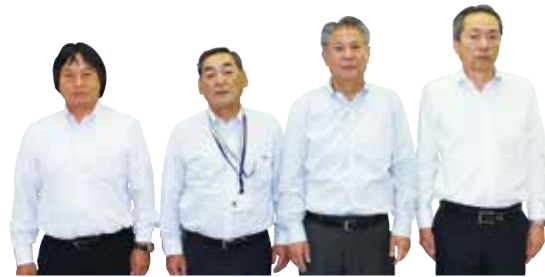


▼振草頭首工



古来、天竜川の水を利用していただちの理解と協力

豊川用水が新たに佐久間ダムや天竜川水系から取水すると、天竜川下流域での水利用に影響が出ます。愛知県と静岡県は、豊川用水地に導水するため、1946年に話し合いを始め、地元



(左から) 浜松土地改良区大石総務課長、同中田維持課長、寺谷用水土地改良区青木事務長、磐田用水東部土地改良区松本事務局長

天竜川下流域には主に3つの土地改良区があります。400年を超える歴史のある寺谷用水土地改良区、静岡県を代表する穀倉地帯に水を供給する磐田用水東部土地改良区、三方原台地と浜名平野の農地に水を届ける浜松土地改良区です。この方達の「互譲」の精神に基づく理解と協力が、豊川用水の安定供給の大きな力になっています。

受益地を支える天竜川水系の水。豊川用水のもうひとつの源

TOYOGAWA CANAL 50TH 1968-2018



静岡県浜松市天竜区と愛知県北設楽郡豊根村にまたがる佐久間ダム。写真中央、堰堤から延びる突起部分付近が豊川用水の取水口。

東三河と静岡県湖西市に水を供給し、地域に暮らす人々の生活や仕事をしっかりと支えている豊川用水。その源は、いったいどこにあるのでしょうか。実は、一か所ではないのです。それはいったいどういうこと？水の流れをさかのぼって、豊川用水のもうひとつのふるさとを探ります。

天竜川からも水を導く豊川用水

豊川用水は、名前にこそ「豊川」とついています。実は天竜川水系からも水を

もらっています。豊川とともに重要な水源となっている天竜川。その河口から約76キロメートルに位置する佐久間ダムからの水を豊川水系に導いているとともに、

天竜川水系の水を取水する大入頭首工と振草頭首工

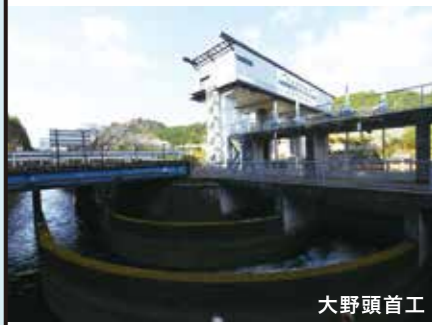
愛知県内を流れる天竜川水系の大入川と大千瀬川から宇連ダムに導水されています。当初は農業用水として計画された豊川用水が、後から工業用水や水道用水も供給する総合用水として使うように計画を変更されたことから、豊川水系の水だけでは必要な量をまかないきれなくなり、天竜川流域からも取水する計画となったのです。流域を越える導水量は年間計画取水量の約25%を占めています。

佐久間ダムから水を導く佐久間導水

大入頭首工と振草頭首工は、大入川と大千瀬川の水を宇連ダムに取り入れるための施設です。大入頭首工は上流域に雨が降ってたくさん水が出たときに、大入川から最大毎秒5立方メートル

佐久間ダムは、天竜川に造られたダムの中でも、特に大きいダムで、電源開発株式会社によって建設・管理されているダムです。日本で9位の総貯水量を誇ります(一般財団法人日本ダム協会ダム便覧2017より)。水力発電がメインのダムですが、ダムに貯えられた水の一部は豊川用水として、農業用水・工業用水、水道用

を取水して、2.6キロメートルの導水路で大千瀬川に導きます。その後、振草頭首工で大千瀬川の水と合わせて最大毎秒15立方メートルを取水し、6.1キロメートルの導水路で宇連ダムに貯水します。この2つの頭首工からの取水量は年間計画取水量の15%、宇連ダム貯水の68%を占めています。



大野頭首工

A 東部幹線水路は渥美半島の先端まで約80キロメートル、また、西部幹線水路は蒲郡市まで約40キロメートルの水路延長になります。それぞれの給水地域に自然の高さを利用した流れで水を送るためには標高78メートル前後で水を取り入れることが必要となりました。いくつかの候補地の中から、頭首工や水路の建設費用と大野頭首工の貯水池に沈む道路や鉄道の付け替え費用など経済性を比べ現在の場所になりました。

豊川用水の取水口
位置はどのように
決められましたか



豊橋南部浄水場(高架水槽)

A 豊川用水の水をきれいにしていくことに変わりはありません。水道用水は浄水場で「凝集沈殿

豊橋南部浄水場では、豊川用水の水を源として
水道用水と工業用水が供給されていますが、
この2つは何が違うのですか

↓急速ろ過↓消毒の処理をするのに対し、工業用水は飲むことがないので、急速ろ過、消毒をしません。

ここが知りたい! 豊川用水。行って、見て、知らなかった姿にふれると、ぐっと身近に。

TOYOGAWA CANAL 50TH 1968-2018

豊川用水の水は
どこから流れて
くるのですか

今まで考えてみたことがなかったけど、一度知ると疑問もいっぱい。豊川用水を下りながら、受益地の高校生と大学生が施設見学。いろいろなことを質問してみました。ダムから水路、重要な施設、家庭や工場に水を送る浄水場まで、見て、聞いて、納得した旅。知れば知るほど豊川用水に親しみがわいてきます。

A 豊川用水は、2つのダムから水が供給されています。宇連ダムは豊川支流の宇連川に、大島ダムは宇連川と宇連川支流の大島川の合流付近に位置します。これらのダムは、豊川水系に降った雨などを貯水して、豊川に水が少なくなると放流し、その水を大野頭首工で取り入れて豊川用水に流します。他に静岡県と愛知県にまたがる佐久間ダムからも期間や水量に制限がありますが、豊川用水へ導水しています。



宇連ダム

どれくらい頻度で
節水対策を行う
必要が生じているか

A この地域は全国的に見ても渇水の発生頻度が高い地域で、1968年に全面通水した後、1977年から2002年までは、毎年のように節水対策が行われました。2002年度に豊川総合用水事業が完了し、寒狭川導水や大島ダムなどが整備されたことで、節水の頻度は緩和されましたが、記憶にも新しいように2013年には54日間にわたる節水対策を行い、最大で水道用水は28%、農業と工業用水は40%の節水を行っています。



宇連ダム

宇連ダムや大島ダムが、
豊川用水の用水路と直接つながっていないとしても、
必要な量が下流に届くのですか

A 豊川用水で必要な量を大野頭首工で取り入れることができるように、宇連川を流れ下る途中で失われる水量をあらかじめ見込んで宇連ダムや大島ダム

から放流しています。なお、宇連ダムや大島ダムから放流した水は、宇連川を約15キロメートル、時間にして5〜6時間流れて、大野頭首工に到着します。



大島ダム



大島ダム



東西分水工

感想NOTE

- 出発した時はくもりだったのに山は雨。ダムって雨が降りやすいところに造るんだとわかって、興味深かった。
- ダムでは、遠隔操作で離れた所にある施設も動かすことができることに感心した。
- 宇連ダムのゲートが大きくてとにかくびっくり!
- 浄水場では、取り入れた水の水質を、金魚を使ってチェックしているとは思わなかった。これなら安心。
- 魚の通り道や観察室があり、水生生物への配慮が充実していた。環境にも優しいので良いと思う。



● 今まで知らなかった豊川用水のことがわかり、僕たちのところに届くまでにたくさんの人の手やお金がかかっていることが理解できた。これからはもっと感謝して水を使いたい。

豊川用水を支える、
水の守人として。

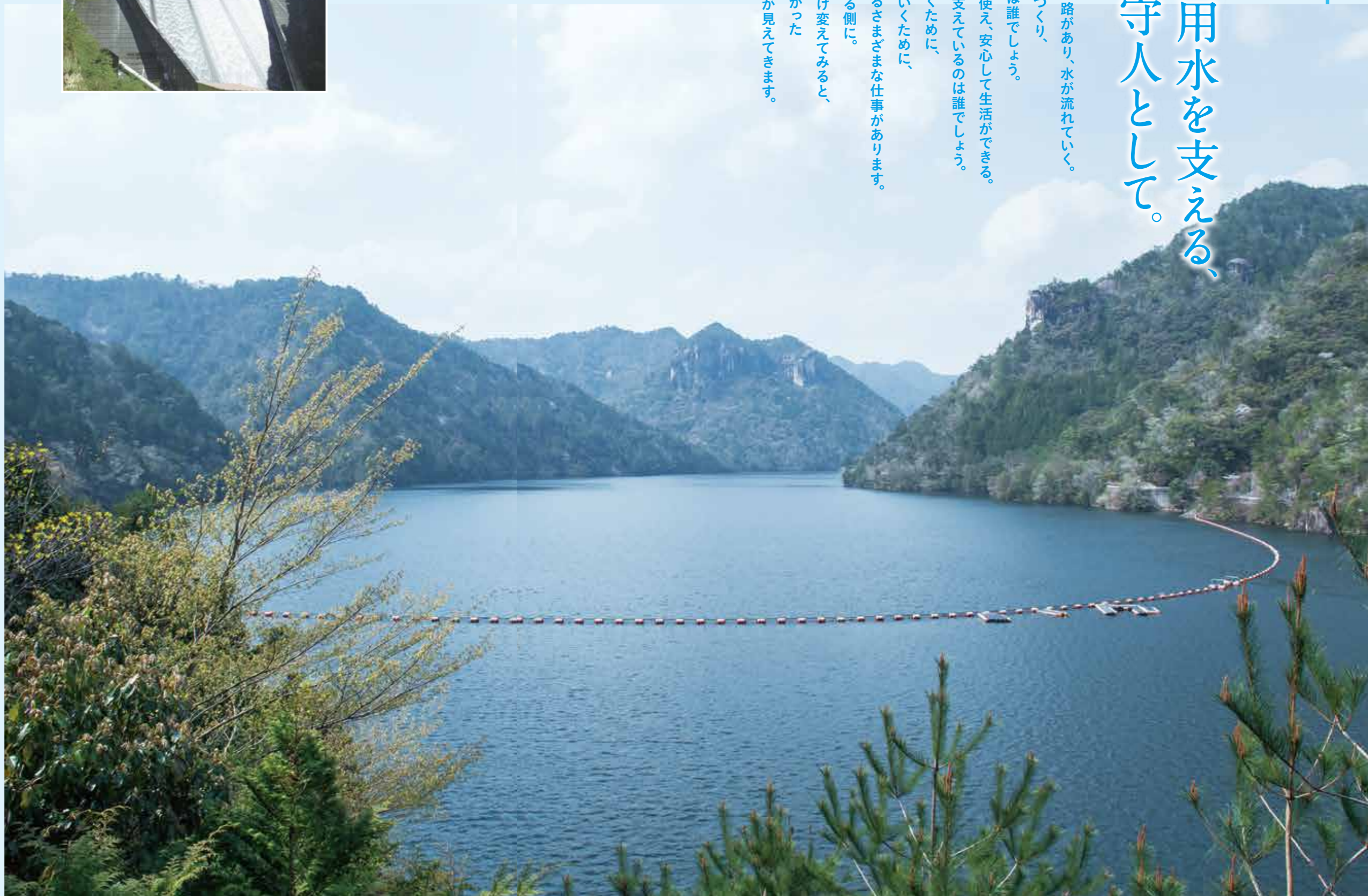
1

いつでも水が使える
そんな「あたりまえ」を
支えている豊川用水の仕事

通水開始以来、とぎれることなく水を流し続ける「豊川用水」。ダムや幹線水路を守る独立行政法人水資源機構、農業用水を配る土地改良区、飲み水を作る愛知県企業庁、飲み水を各家庭に配る市の水道課、工業用水を作り配る愛知県

企業庁と静岡県企業局。天候や昼夜の区別なく、多くの人が働いています。また、コンクリートでできている施設でもメンテナンスは必要です。いつ起きてもおかしくないといわれている大規模地震への備えも重要となっています。水を届ける仕

事は、どちらかと言うと地味な仕事ですが、どの仕事にも熱意を持って取り組めるのは、水の守人としての誇りがあるから。関わる人それぞれが水を使う人のことを考えて、まっすぐな心で日々の仕事と向かい合っています。



豊川用水を支える、 水の守人として。

ダムがあり、水路があり、水が流れていく。
そんな風景をつくり、
守っているのは誰でしょう。
水を安定して使え、安心して生活ができる。
そんな毎日を支えているのは誰でしょう。
人が生きていくために、
地域が栄えていくために、
水を支えているさまざまな仕事があります。
使う側から守る側に。
視点を少しだけ変えてみると、
今まで見えなかった
豊川用水の姿が見えてきます。

豊川用水を支える、水の守人として。

2

生命の水を、安定して送るために。
豊川用水を守り続ける。



通水50年、ノンストップで地域を潤してきた豊川用水。その陰には、多くの人々のがんばりがあります。ダムから受益地まで、水の流れを見守る仕事。豊川用水の舞台裏を訪ねてみました。

水を貯め、水を送る

豊川用水の水源、宇連ダム。降った雨をダム湖に貯め、必要な量を下流に送るため、毎日さまざまな管理が行われています。

ダムから流す水の量は、多すぎても、少なすぎてもいけません。大野頭首工から求められた水量が正確に送り出されているかを常にチェックし、バルブを閉めたり開けたりしながら、細かなコントロールを行います。操作室内では、常に気象情報をチェックし、予想される雨量をコンピュータで予測。必要な作業を迅速に行えるように備えています。

宇連ダムには、地上から



宇連ダム監査廊

は見えない仕事場があります。それが、ダム監査廊。高さ65メートルのダムの中に入り、階段で地上とつながっています。ダムにかかる圧力をはかる装置や異常な水漏れがないかを計測する装置が設置され、定期的にチェックを行います。暗くて急な階段には、ひんやりとした空気が満ち、気温は夏でも10度ほど。階段は262段あり、上り下りはとても大変で、普通の人なら息が切れるほどですが、ダムで働く人は楽々と上り下りしていきます。ダムの仕事には、知恵だけでなく体力も必要なのです。

日常業務のほか、天候に合わせて行う作業もありま

水を取り込む

大野頭首工の仕事は、下流で必要とする水量を正確に取り入れることです。取り入れる水は豊川の支流である宇連川を自然に流れている水と、宇連ダム・大島ダムから放流された水。取り入れる量は1秒ごとに100リットル単位でコントロールされています。宇連川の水量を量り、ダムからどれだけ放水するかを決めています。

雨が降りそうな時や、雨が降っている時には、ダムの放流をいづれくらいいおさえるか、停止するかの見極めが難しくなります。細かな知識と経験、判断力が必要な仕事です。急激な天候の変化に対応するため、職員がダムの近くの宿舎に住み、いざとなったらすぐ対応できるよう備えています。夜中であろうと、休日であろうと、雨が降れば呼び出しがかかり、台風などの非常時



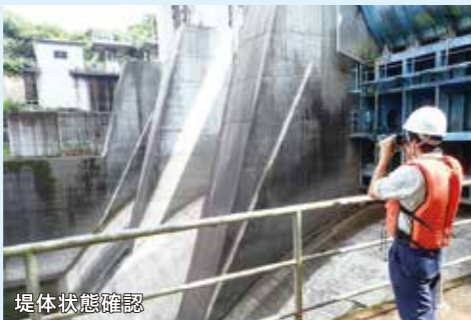
堆砂測量

す。大雨が降ってダムに貯めておけない水を豊川に放流する時には、警報サイレンを鳴らし、川原に人がいないか確認するために巡視を行います。放流している間は気が抜けません。

ダムの管理は、天候に左右される細かな仕事のため、勤務時間が不規則です。水は一時も止めることができないので、常に巡視を行っています。皆が眠っている時間にも、誰かがダムを守っている。安全・安心に水を使ってもらうためには欠かせない役割。ダムという大きな施設を適切に管理していくことは大変ですが、とても責任のある仕事です。

には、全員で徹夜して仕事にあたります。

大野頭首工でせき止められた水は、用水路に優先的に流されます。大雨が降り、宇連川の水が増えてくると、下流域にある調整池に導水し、貯めておきます。これを洪水導入といいます。洪水



堤体状態確認

導入の場合は、いつから、どれだけ導水できるかがもつとも難しい問題となります。洪水導入する水の量と水路を操作する人の手配の調整を行い、下流の管理所に連絡をし、各管理所が水の流れてくる時間を計算して取水ゲートの操作をします。

豊川用水の指令塔

豊川用水を流れる水の量は、毎日変わります。豊川用水の指令塔とも言える水



流量観測

頭首工の心臓部とも言える取水ゲートの操作は、夏と冬で異なります。夏になると藻がたくさん発生して流れにくくなり、水量が変わってしまうのです。そのため、夏には流量観測に目を配り、正確な水の量を計っています。藻の発生は大野頭首工だけでなく、下流の管理所でも頭を悩ませている問題。自然を相手にする仕事だけに、天候や季節に合わせ、臨機応変な対応が求められているのだと言えます。

資源機構豊川用水総合事業部では、水を使う人からの要望に合わせて、各管理所に指令を出しています。農業用水は農家から土地改良区を通じて配水の申し込みがあります。東三河で使う工業用水と水道用水は愛知県企業庁、湖西市で使う工業用水は静岡県企業局から要請を受け、必要な量を計算し各事務所に伝えます。指令を受けダムからの補給が必要な場合は水源管理所がダムから放流を行い、取水量に変更がある場合は大野管理所で取り入れる量を調整し、幹線水路では東西分水工で西は蒲郡、東は渥美半島と湖西の幹線水路に水を分ける量を調整するのです。大切な水を一滴も無駄にしないために、綿密な計算の下で配水しています。必要な場所に、必要なだけ届けるのが鉄則。常に神経を張り詰めながら、水路を管理する各管理所と連携して水を配っています。

水路の安全を守る 幹線パトロール

豊川用水には、東西2つの幹線水路があります。水路の管理は、地域内に2か所ある支所が行っています。各支所は、幹線水路を定期的に巡回パトロールしています。地上に出ている開水路には、落ち葉やビニールなどのゴミが入り込み、また、季節によっては水路の中を生えた藻が切れて流れることがあります。このため、ゴミや藻を取り除きながら水路をチェックすることが必要です。ゴミ取りが自動化されてい

豊川用水を支える、水の守人として。

3



ゴミを取る作業



水路改築



田畑に水を届ける 農業用水路

幹線水路によって送られてきた水は、地域の中に毛細血管のように張り巡らされた農業用水路によって田畑まで届きます。東三河地域の164本の農業用水路は豊川総合用水土地改良区を始めとする9つの地域の土地改良区が、湖西地域にある2本の農業用水路は湖西用水土地改良区が管理しています。

農業に必要な水を安定して農家に届けるのが土地改良区の仕事。幹線水路と同じように、定期的に農業



石綿管除去対策

用水路の巡視を行っています。農業用水路のほとんどは地面の下に埋められているので、幹線水路と違って水の流れを直接見ることはできません。さらに、通水当時は農地であった地域が都市化により開発され、現在では、道路の下に埋められている農業用水路もあり

ます。道路の下に埋められた農業用水路が万が一壊れてしまえば、水があふれ出し、大きな被害となる場合もあるので、用水路の補修など素早い対応が必要です。農業用水路の巡視は、こうした事態を未然に防ぐための大切な仕事なのです。また、雨が少なく渇水に



幹線パトロール



電気設備点検



分水工操作



大規模地震対策



新城支所



豊橋支所

なった場合に農家に節水を呼びかけ、その影響を最小限に抑えることも土地改良区の大きな役目です。農作物は言うまでもなく生き物です。必要な時期に必要な量の水が供給されなければ、農業生産に大きな影響を与え、農家の生活は立ち行かなくなりそうです。そうした事態は絶対に避けなければなりません。どんな時でも必要な量の水を確保することが、農業用水の大きな使命です。土地改良区は、農業用水路を守るだけでなく、地域の農業そのものを守っているのです。

安全・安心な水を 未来へ

豊川用水二期事業

50年前に通水を始めた豊川用水ですが、今でも工事を行い、水を安定供給するための努力が続けられています。古くなった水路の改築と耐震対策を行う豊川用水二期事業です。1999年度から2030年度の予定で31年をかけて進めています。

● 水路改築

コンクリート造りの水路でも、50年もの長い間絶え

● 大規模地震対策

近く発生する可能性が高い大規模地震。いまだかつてない揺れに襲われ、水路が破損してしまったり、大きな二次災害が起こる可能性があります。そうした事態をまねかないように、耐震性が不十分であると判断された施設や復旧に時間がかかる施設について、安全性を確保するための耐震対策工事を行っています。災害に負けない、強い水路や施設、設備を造るために、継続して工事が進められています。

● 石綿管除去対策

昭和40年代まで農業用水路において多用された石綿セメント管の老朽化が進行し、破損等に伴うアスベスト被害の心配が生じたことから、塩化ビニール管へ布設替えを行い、2015年度までに完了しました。

50年前に通水し、水を流し続けてきた豊川用水。その歩みは、50年後の今も止まることなく前に進んでいます。昔も、今も、これからも。必要とされている限り、豊川用水を守る仕事は、いつも現在進行形。時代を越えて受け継がれていきます。

1.北設楽郡豊根村に広がる人工林。豊根森林組合が整備する。2.植林の様子。急な斜面に一本ずつ手作業で植えていく。

豊川用水の水源地となっている奥三河地域には、古来、人々が大切に守り育ててきた、美しい杉や桧の森林があります。この森は、山に暮らす人々にとって、まさに暮らしを支える糧。長い間、森林とともに生きてきました。水源の森を守ることは、きれいな水を守ること。山仕事を担う人々の仕事が、水源の里を支えています。

水源の森へ感謝を込めて。大切に守りたい豊川用水のふるさと。

きれいな水のふるさと 森林を整備する

豊川用水の水源地の森林は、川の源になっているだけでなく、地球環境を健全に維持する上で重要な役割を果たしています。そんな森林をすこやかに守ってきたのは山里に住む人々。水の恵みを受ける時には、山に思いをはせることが大切です。

清らかな水を、美しい木々を、100年先まで届けたい。だからこそ、大切に守り続けたい水源地の森林。

水 源地に暮らす人々は、長い間、林業を生業として生活してきました。木を植え、育て、伐採して材にする。一本の木が売れるようになるまでに

は、何十年もかかります。時には祖父が植えた木を孫が伐れることもあるほど。そんな息の長い仕事を、山に生きる人たちはずっと続けてきました。森林を見守り、心を込めて手入れをし、長い歳月をかけて慈しむ。それが林業という仕事です。伐られた木は下流の人々の家になり、町の一部になって長い間使われました。ずっと昔から受け継がれてきた、人と森との密接な関係。これから先の未来に向けて、大切にしていかなければならない絆がそこには息づいています。



水源の木を農業で活用!!
とよね木サイクルセンター



製造の様子

林業を守るために、地域でとれた木材を地域内で使う取り組みが各地で行われています。「とよね木サイクルセンター」では、間伐材を製材して出た木くずをペレットに加工し、燃料として販売しています。主にペレットストーブの燃料として使われていましたが、最近になって、受益地の施設園芸農家で、ハウスを加温するための燃料として使われるようになってきました。木質ペレットを燃やして出るCO²は、木が成長するときに吸収したものであり、伐採後に植樹すれば成長の過程で樹木に再び吸収されることから化石燃料のように大気中のCO²を増加させることがありません。また、製造時に出るCO²の排出量も石油の1/5、電気の1/10。木質ペレットを利用することは、地球温暖化対策にもつながることがわかっています。水源地の木を有効に使い、地球環境に貢献しながら農作物を育てる。そんな未来が現実になろうとしています。



ペレットストーブ



木質ペレット

木質ペレット



4

二度人工林にした以上、人の手を入れ続けなければ山は成り立ちません。しかし、現在の状況の下では間伐もなかなか進まず、山はどんどん荒れていくばかりです。」と、伊藤さんは語ります。過疎化や高齢化も進み、不在地主も増えて、林業だけでなく山の暮らし全体が厳しくなっているのが現状です。間伐が行われず木が密生し、太陽光が地面

まで届かなくなれば、下草が生えなくなると土がやせてしまいます。やせた固い土には水がしみ込みにくく、雨が降っても地表を流れていってしまうため、十分に水をたくわえることができなくなると、洪水や濁水を起こしやすくなります。上流域の問題は下流域にとっても大きな問題。上下流一体となって取り組んで行かなければなりません。



6

「森から湧き出す水を豊かに、そしてきれいに保つためには、山の手入れが不可欠です。昔は、個々の山主(山の持ち主)が自分で山の管理や木材の販売を行っていましたが、現在では市町村の森林組合が主な担い手と

なっています。森林組合とは、山主がつくる共同組織。山主から委託を受けて、山仕事をしたり、木を伐って販売する仕事をしています。」
「山仕事にはいろいろな種類があります。急な斜面に手作業で苗木を植える「植林」、苗が大きくなるように邪魔になる植物を取り除く「下刈り」、木の成長を妨げる藤などのつる性植物を除去する「つる切り」、不要な枝を払う「枝打ち」、そして、木が生えている密度を調整し、適度に光が入る健全な森林に導く「間伐」などです。当森林組合では、年に8000本くらいの木材を出荷しています。」と、豊根森林組合の伊藤桂さん。山の管理にあたる作業員は20人、多くが若い世代で、1ターンの作業員が半数ほどを占めます。

「豊根は男性だけですが、他の組合には女性作業員もいます。自然を生かす仕事であること、屋外でのびのび働ける健康的な仕事であることなどに魅力を感じて入ってきてくれるようです。若い世代が山を支えてくれるのは、嬉しいことだと思っています。」

すこやかな森は、
人びとの手がつくる。
樹木を育てる
仕事をにやう森林組合。

森

から湧き出す水を豊かに、そしてきれいに保つためには、山の手入れが不可欠です。

すこやかな森は、
人びとの手がつくる。



3

3.間伐した材木は長さを揃えて集められ、トラックで出荷される。4.重機を使った間伐作業。斜面での作業は熟練の技が必要になる。5.案内をくださった豊根森林組合の竹内さん(右)と清川さん(左)。6.間伐材を活用してつくられたレストラン。明るくお洒落な雰囲気。

「山仕事にはいろいろな種類があります。急な斜面に手作業で苗木を植える「植林」、苗が大きくなるように邪魔になる植物を取り除く「下刈り」、木の成長を妨げる藤などのつる性植物を除去する「つる切り」、不要な枝を払う「枝打ち」、そして、木が生えている密度を調整し、適度に光が入る健全な森林に導く「間伐」などです。当森林組合では、年に8000本くらいの木材を出荷しています。」と、豊根森林組合の伊藤桂さん。山の管理にあたる作業員は20人、多くが若い世代で、1ターンの作業員が半数ほどを占めます。

危機に瀕する
日本の林業を救うため、
地域でとれた木材の
積極利用が必要。

水

のふるさととも言える森林は今、大きな危機に直面しています。奥三河の山の多くは、杉や桧の人工林。長い間、林業で支えられてきました。しかし、木材の輸入が自由化されたことにより、国産材が価格の安い輸入材に押されて適正な価格で売れなくなり、林業が成り立たなくなりました。補助金がなければ赤字。山に興味を失い、管理をやめてしまう山主も増えてきました。



5



豊川用水のまわりで楽しいこと発見!!

Canalside Super Guide

- ...道の駅
- ...日帰り温泉
- ...見どころ
- ...体験
- ...祭礼・イベント
- ...食を楽しむ



沿線スーパーガイド

ゆったりほっこり優しい所。いきいき元気にあふれる所。山から海まで、豊川用水の沿線の9つの市町村には、どこにもそれぞれの個性があり、いろいろな魅力がいっぱい。見たり、歩いたり、学んだり、遊んだり、そして体験したり。知らなかったスポットを訪ねれば、新しい何かが待っている。楽しいことたくさん探しに行こう!!



道の駅

地域観光と情報発信の拠点となる道の駅。名物やご当地グルメを楽しんだり、地域のひととのふれあいも魅力です。

2019年、豊橋市東七根町に食と農をテーマとする新しい道の駅がオープン予定。



つくで手作り村

山村と都市の交流拠点として、新城市内でとれる農林産物と加工品を販売。多彩な旬の食材を手に入れることができます。木工から手芸、郷土料理づくりや農業体験ができる施設もあります。作手産のお米「ミネアサヒ」のご飯に、名物の「長者味噌」を使った甘みそをたっぷりぬって焼き上げた五平餅がおいしい！つくで高原トマトとつくで和牛をミネアサヒの米粉のルウで仕上げたハヤシライスは絶品！

●新城市作手清岳ナガラミ10-2 TEL:0536-37-2772



つく高原グリーンパーク

標高900メートルにある、キャンプ場を併設した道の駅。夏でも涼しく、施設の整ったキャンプ場やバンガローは、家族連れでにぎわいます。4月から11月は、ニジマス釣りやテニス、パターゴルフなどが楽しめます。厳選された設楽産トマトを使用し、甘酸っぱい味をしっかりと残しながらも後味さっぱりな夏限定トマトソフトクリームがおすすめ！豊かな自然を満喫できます。

●北設楽郡設楽町津具字東山2-156 TEL:0536-83-2344



あかばねロコステーション

サーフィンのメッカ太平洋ロングビーチに近く、展望デッキからは海を一望できます。地元特産品の販売所やレストラン、サーフショップなどがあります。地元の野菜や花の直売にも注目。

●田原市赤羽根町大西32-4 TEL:0531-45-5088



もつくる新城

新東名高速道路新城インターチェンジ近く。多くの観光客が自由に休憩し、個性あふれる食事とバラエティ豊かな産物を楽しめる場所。三河地方の木材を使った建物、湯谷温泉の湯を利用した足湯、薪ストーブを暖房に使うなど地域資源を生かした施設です。2018年には「第1回あいち木づかい表彰 最優秀賞・愛知県知事賞」を受賞しました。

●新城市八束穂字五反田329-7 TEL:0536-24-3005



鳳来三河三石

四季の風情が楽しめる庭園と家康伝説で知られる満光寺に隣接。梅ペーストととろろがさっぱりマッチした梅とろろうどんが好評。近くの「鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな」では梅ジャムや梅あめ、梅干しなど鳳来特産の梅を使ったおいしさを楽しめます。

●新城市下吉田字田中106-1 TEL:0536-34-0139



伊良湖クリスタルポルト

三重県鳥羽市や知多半島、三河湾に浮かぶ島々へ向かう海の旅の玄関口。大きな駐車場が完備し、レストランや土産物売り場も充実。やしの実博物館も楽しい。

●田原市伊良湖町宮下3000-65 TEL:0531-35-6631



田原めっくんはうす

2018年4月にリニューアルオープン。渥美半島特産のマスクメロンやトマトなどが並ぶ産直コーナーは目移りする多彩さ。メロン狩りやイチゴ狩りなどの情報も手に入ります。ボリューム満点の名物「びっくり海老天丼」には本当にびっくり。6次産業加工施設も併設され、地元食材を使った特産品が生産されています。

●田原市東赤石5丁目74 TEL:0531-23-2525



潮見坂

雄大な遠州灘を眺めながらゆったり足湯につかれれば心もほっこり。ドライブのつかれも心地よくぬけていきます。くつろいだ後は海の香り満載の「しらす丼」「生のりうどん」を賞味。新鮮な海の幸に舌も大満足です。地元の産品も充実して買い物も楽しい！

●静岡県湖西市白須賀1896-2 TEL:053-573-1155



アグリステーションなぐら

高原野菜の直売が大人気。朝とれたばかりの新鮮野菜がお手頃価格です。五平餅やそばなど地元の味を満喫できます。名倉産トウモロコシと発芽玄米でつくった「とろとろコーンスープ」は特におすすめ。

●北設楽郡設楽町西納庫字森田32 TEL:0536-65-0888



豊根グリーンポート宮嶋

1993年に愛知県内道の駅第1号として誕生。愛知の最高峰峰臼山高原を訪れる人の立ち寄りスポットとして人気。間伐材を利用したレストランでは、話題のダムカレーや豊根産のチョウザメ料理を味わえます。観光協会も併設し旬の情報をゲットできます。

●北設楽郡豊根村坂宇場字宮ノ嶋29-3 TEL:0536-87-2009

日帰り温泉

気軽に立ち寄ってお風呂を楽しめる日帰り温泉。水源地域を中心に、趣向を凝らした施設を紹介します。ゆったり、癒しのひとときをご堪能。

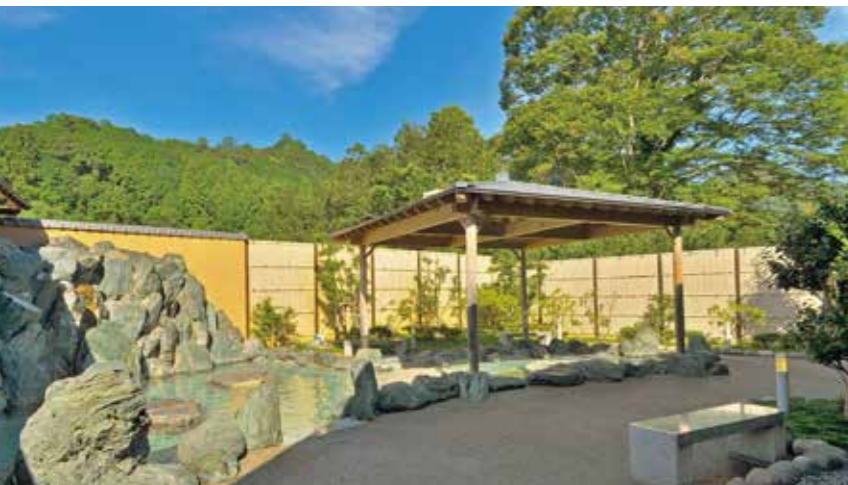


● 新城市名号字袋林28-2
TEL:0536-33-5126



名号温泉うめの湯

三遠南信自動車道鳳来峡インターチェンジからすぐ。宇連ダムと大島ダムの近くに建つ、宇連川のほとりの温泉施設です。春は新緑、秋には紅葉、季節を感じられる露天風呂は解放感たっぷり。冷え性や疲労回復におすすめのアルカリ性単純温泉です。紫外線酸化殺菌装置が導入されているからいつも清潔。安心してゆっくりつかることができます。



鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな

板敷川のせせらぎ、たっぷりの緑とさわやかな空気。歴史ある湯谷温泉にある日帰り温泉です。浴場エリアとスポーツ施設で構成されたクア施設。露天風呂や気泡風呂などを備えた大浴場のほか、湯量豊富な温泉を利用した温泉プールは幼児から大人まで家族全員で楽しめます。トレーニングルームも充実しており、体力づくりもできます。泉質はナトリウム・カルシウム-塩化物温泉です。

● 新城市能登瀬字巻輪23-1
TEL:0536-32-2212



天然温泉本宮の湯

本宮山登山道の入口にある温泉施設。登山帰りに汗を流し、疲れをとるのに最適です。全館にナノ水を使用し、「優れた美肌効果」「化粧水のような肌ざわり」「湯冷めしない保温力」を実感できます。大浴場、サウナ、薬湯などさまざまな趣向を凝らしたお風呂があります。地域の人との交流も楽しい！

● 豊川市上長山町本宮下1-1685
TEL:0533-92-1880

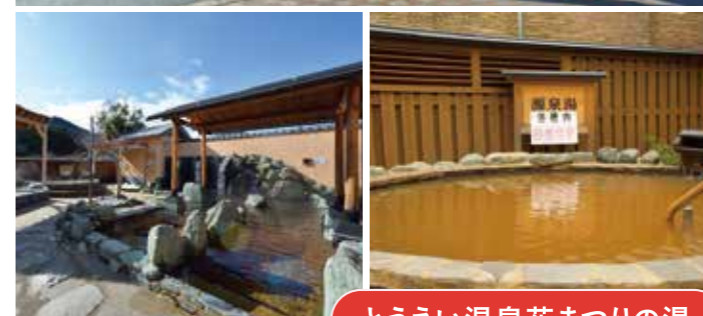


兎鹿嶋温泉 湯〜らんどパルとよね



豊川用水大入頭首工の近く。山里にこんこんと湧き出る天然温泉です。緑に囲まれた露天風呂をはじめ、気泡湯、打たせ湯、サウナ風呂などがあります。源泉が2つあり、1週間ごとに楽しめます。泉質はナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉。お肌がつるつるになるやさしいお湯。少しとろみを感じるのが特徴です。心まで温まるひとときを堪能。

● 北設楽郡豊根村上黒川字長野田20
TEL:0536-85-1180



とうえい温泉花まつりの湯

豊川用水振草頭首工に近く、ドライブがてら気軽に立ち寄れる温泉。泉質の良さで知られています。天然療養泉で、身体の芯からじんわりと温まり、肌にもやさしいお湯が自慢です。医薬効果も期待でき、湯治客も訪れます。露天風呂、陶器風呂、打たせ湯、内湯、源泉かけ流しの源泉湯などがあります。隣接の宿泊施設は、かつての県立高校宿舎をリフォームしたものです。

● 北設楽郡東栄町下田字花田21 TEL:0536-77-0268
宿泊予約/TEL:0536-77-2525



湯の島温泉

豊根村富山地区に位置し、大自然に囲まれて入る天然温泉です。佐久間ダムにほど近く、佐久間湖を見下ろす眺望を楽しめます。土日祝日のみの営業で、営業時間も午後1時から午後7時までの6時間。そのため幻の温泉とも言われ、知る人ぞ知る秘湯です。露天風呂もありますが、冬季は内風呂のみの営業。最寄り駅のJR飯田線大嵐駅は、秘境駅として知られています。泉質はナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉です。

● 北設楽郡豊根村富山字兎鹿ノ平12-3
TEL:0536-89-2007

見どころ

豊川用水が関係する地域は、長野県との県境の山間部から渥美半島まで。一度は行っておきたい絶景スポットはここだ!!

JR飯田線小和田駅

愛知県、静岡県、長野県の三県境にある無人駅。周囲に人家がなく、車が入れる道もないことから、訪れるには飯田線を使うしかありません。無人の駅舎は味わいのある木造の建物。ホームからは佐久間ダム湖を眼下に望むことができます。JR東海では、飯田線の秘境駅をめぐる臨時的観光列車「飯田線秘境駅号」を運行することがあります。

JR飯田線「小和田駅」

● 静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家



スターフォーレスト御園

標高650メートルの東栄町御園地区は、全国屈指の星空が望める絶好のスターウォッチングポイント。「スターフォーレスト御園」は、天体観測をはじめとして幅広い自然観察ができる公共の宿です。プラネタリウムや6.5メートルドーム型天文台にある60センチ反射望遠鏡で思う存分に星空観察を楽しめます。

東栄町森林体験交流センター「スターフォーレスト御園」

● 北設楽郡東栄町御園野地91-1 TEL:0536-76-0687



新居関所



1600年に徳川家康により創設された関所。日本で唯一、現存する関所として1995年に国から「特別史跡」に指定されました。併設された「関所史料館」では関所ゆかりの資料などが常設展示されています。

関所史料館

● 静岡県湖西市新居町新居1227-5 TEL:053-594-3615

豊川稲荷



正式名称は「円福山 妙厳寺」。広大な境内に90棟以上の堂塔伽藍が建っています。日本三大稲荷の一つとして有名です。奥にある霊狐塚には、お狐さんが大小800体ほど祀られ、幻想的な雰囲気を感じさせています。

豊川稲荷

● 豊川市豊川町1 TEL:0533-85-2030

茶臼山高原芝桜の丘



愛知のてっぺん、茶臼山高原萩太郎山の頂上付近に広がる色鮮やかな芝桜のじゅうたん。5月上旬から6月上旬にかけて、22000平方メートルの広大な敷地に40万株が咲き誇りまさに絶景!

一般財団法人茶臼山高原協会

● (現地)北設楽郡豊根村
茶臼山高原 萩太郎山頂上付近
TEL:0536-87-2345

蔵王山展望台



渥美半島を360度見渡せるビューポイント。渥美半島の玄関口として親しまれています。天気の良い日には東に富士山、西に知多半島、南に太平洋、北に蒲郡・豊橋が見渡せます。美しい夜景も見ることができます。

蔵王山展望台

● 田原市浦町蔵王1-46
TEL:0531-22-0426

四谷千枚田



標高883メートルの鞍掛山を水源に、標高220メートル付近から山頂に向かって標高420メートル付近まで広がる棚田です。春は田植え、青々とした稲が茂る夏の風景、秋の実り、冬の雪など、日本の原風景とも言える景色は感動的。「鞍掛山麓千枚田保存会」の皆さんが守っています。田植え体験、稲刈り体験などの催しもあります。

新城市観光協会

● (現地)新城市四谷
TEL:0536-29-0829

竹島 八百富神社

対岸と400メートル離れた、島全体が境内の八百富神社。しかし、対岸とは大きく異なる暖地性の常緑広葉樹林でおおわれ、自然植生が残されていることから国の天然記念物に指定されています。弁財天が祀られ対岸と島を結ぶ橋は「縁結びの橋」と呼ばれています。

八百富神社 ● 蒲郡市竹島町3-15 TEL:0533-68-3700



豊橋総合動植物公園 のんほいパーク



動物園・植物園・自然史博物館・遊園地の4つのゾーンが一つの敷地にある、日本唯一の施設。子どもから大人まで1日たっぷり楽しめます。期間限定で行われる「ナイトZOO」では、動物たちの夜の様子を観察することができます。

豊橋総合動植物公園 のんほいパーク

● 豊橋市大岩町字大穴1-238
TEL:0532-41-2185

光に反射してきらきらと光る地表の雲母から「きららの森」と呼ばれるブナの原生林。愛知県内最大の規模を誇っています。豊川水系、天竜川水系及び矢作川水系の分水嶺で豊川の始発点となっています。樹齢200年を超える巨木や常緑針葉樹、落葉広葉樹の天然林が広がります。ブナの天然林は大地にしみ込んだ雨水を大量に保つことから、別名「緑のダム」と呼ばれています。

設楽町観光協会

● (現地)北設楽郡設楽町田峯字段戸1-1 TEL:0536-62-1000

段戸裏谷原生林きららの森



祭礼・イベント

豊川用水沿線では、1年を通じて多彩な祭やイベントが開催されます。地域文化にふれたり、催しに参加したりと気軽に楽しめます。



手筒花火

豊橋市にある吉田神社が発祥の地とされる手筒花火は、東三河と静岡県西部に伝わる独自の花火です。揚げ手が筒をしっかり抱えるように持ち、巨大な火柱を噴出させます。五穀豊穡、無病息災、家運隆盛、武運長久を祈る奉納行事として地域の祭礼で奉納される他、各地でイベントも開催されており、豊橋市の「炎の祭典」、豊川市の「豊川手筒まつり」などが知られています。
(写真: 遠州新居手筒花火。新居諏訪神社にて江戸時代から続く祭礼。2夜にして2000本の手筒花火が奉納されます。)

田原祭り

城下町・田原を代表する祭。屋間はからくり人形を載せた田原市有形民俗文化財の山車が練り歩きます。夜は着飾った子どもたちや青年が夜山車の上で手踊りを披露。最終日の夕方には、手筒花火と大筒花火があげられます。仕掛け花火や打ち上げ花火も見ものです。

【場所】田原市市街地周辺

渥美半島観光ビューロー
● TEL: 0531-23-3516



花祭



毎年11月から3月にかけて、北設楽郡東栄町、設楽町、豊根村で開催される伝統ある祭礼。鎌倉時代から続いていると伝えられています。テーホヘテホへのかけ声とともに、舞手が夜を徹して踊りを繰り広げます。

東栄町観光まちづくり協会
● TEL: 0536-76-1780
設楽町観光協会
● TEL: 0536-62-1000
豊根村観光協会
● TEL: 0536-87-2525



長篠合戦のぼりまつり

長篠の戦いで倒れた織田・徳川連合軍と武田軍の将士の霊を慰めるために行う勇壮なまつり。新城市の長篠城址で毎年5月5日に開催されます。鉄砲隊による火縄銃の演武、長篠陣太鼓、合戦行列など迫力満点です。

【場所】新城市長篠字市場22-1 長篠城址

新城市観光協会 ● TEL: 0536-29-0829



三谷祭

山車(やま)と呼ばれるけんらん豪華で巨大な車を氏子の男性がひき回し、八剱神社と若宮神社の間を練り歩く日本でも珍しい祭です。4台の山車が300メートルに渡って海を進む「海中渡御(かいちゅうとぎょ)」は目を奪われるほどの勇壮さ。迫力いっぱいでもまさに圧巻です。

【場所】蒲郡市三谷地区

三谷祭保存委員会(三谷公民館内)
● TEL: 0533-67-1763

体験

山里や海をはじめ、地域の暮らし、文化、遊びにチャレンジ!そこでしかできない体験をみんなで一緒に楽しんでみませんか?



セリサイト鉱山見学と手づくりコスメ体験



世界の高級コスメの原料として使われる高品質なセリサイト(絹雲母)を採掘する栗代鉱山を見学。実際に使われている坑道に入り、鉱山の内部をつぶさに見ることができます。また、採掘されたセリサイトを使い、自分だけのオリジナルコスメをつくる体験も大人気。ミネラルファンデーション、チーク、アイシャドウなどが作れます。(セリサイト鉱山見学は毎月第2土曜日に実施)

東栄町観光まちづくり協会 ● TEL: 0536-76-1780



今切体験の里 海湖館



浜名湖今切パークの中にある体験施設。貝がらや流木を使って、かわいいフォトスタンドやミニ動物をつくるクラフト体験ができます。プラスチックを使ったキーホルダーは小さな子どもたちでも作れると人気です。その他、夏は魚やうなぎのつかみどり体験、冬は「かき小屋」での焼きがき体験なども楽しめます。併設する食堂では生しらす丼などが食べられます。

今切体験の里 海湖館 ● TEL: 053-594-6624



サンテパルクたはら

豊川用水の調整池のひとつ、田原市の芦ヶ池。周辺は農業公園「サンテパルクたはら」として整備されています。農林体験実習館をはじめ、野菜や乳製品などの直売所、野菜の遊具がある遊園地、小動物園などがあります。体験コーナーでは、ウインナー作り、渥美半島の牛乳を使ったアイスクリーム作り、パンやお菓子作り、フラワーアレンジメントなどが楽しめます。体験農場もあり、野菜の収穫体験もできます。

サンテパルクたはら
● TEL: 0531-25-1234

山びこの丘



古くは「山の湊」と呼ばれ、奥三河の玄関口として知られた新城市。鳳来寺山の麓にある「山びこの丘」は、豊かな自然を満喫できる体験スポットです。四季折々の花や自然の美しさを感じながらの、リラックスヨガやリバートレッキング。そば打ちや陶芸、はたおりなど、家族そろって楽しめるプログラムがいっぱいです。

山びこの丘 ● TEL: 0536-35-1191



ぼく飯

「ぼく」とは棒杭のことで、養鰻場で成長しすぎて出荷できなくなった大きなうなぎを指しています。これをこんがり焼いて刻み、ゴボウと一緒に炊き込んだり、混ぜご飯にして食べる浜名湖周辺の郷土料理です。甘辛く味付けされたうなぎとゴボウの風味がよく合います。養鰻場のまかないとして食べられていたのが広まったと言われています。うなぎ専門店でも提供されるほか、家庭でも手作りされ親しまれています。素朴な味わいが優しく、大人から子どもまで幅広く好まれています。



とよね チョウザメロイヤルフィッシュ

ロイヤルフィッシュとは、豊根村で養殖されているチョウザメのブランド名。山の天然水で育てたチョウザメの肉を使った寿司、どんぶり、刺身、鍋、肉団子などが村内4か所で提供されています。脂がのっているのに淡泊。鯛とぶぐを合わせたような味わいが魅力です。

豊根村役場地域振興課 TEL:0536-85-1311(代)



梅加工品

新城市鳳来地区は愛知県一の梅の産地。芳醇な香りの梅をさまざまな商品に加工しています。定番の梅漬けや梅酒をはじめ、梅アイスや梅ジャム、梅の風味がきいた梅うどんなどが勢ぞろい。「Aコープ新城市」「グリーンセンター」「こんたく長篠」で販売されています。

新城市観光協会 TEL:0536-29-0829



東栄チキン

愛知県東三河の豊かな自然の中、おいしい空気ときれいな水で育てられた若鶏を、こくのあるタレにつけ込みました。ニンニク風味の赤みそで味付けしたみそ味と、しょうが風味のしょうゆ味があります。うまみたっぷりなのに後味さっぱり。通信販売でも購入できます。

株式会社東栄チキン
TEL:0536-76-0638



豊橋カレーうどん

豊橋は100年以上の歴史があるうどんの街。おいしいうどんをより楽しく食べていただくと考えられた「豊橋カレーうどん」。器の底からとろろご飯がでてくる驚きの2層構造。テレビでも紹介され、豊橋の地域ブランドとして親しまれています。豊橋市内43店舗で提供中。

豊橋観光コンベンション協会 TEL:0532-54-1484



渥美半島どんぶり街道

田原ポーク、あつみ牛、大あさりにしらす、海鮮、トマトなど、豊富な渥美半島の食材が、料理人の技とアイデアで、種類いろいろおいしいどんぶりになりました。スタンプラリーも実施され、獲得したスタンプの数に応じてすてきな賞品が必ずもらえます。

渥美半島観光ビューロー TEL:0531-23-3516



ガマゴリうどん

三河湾は全国有数のあさりの産地。あさりのうまみがギュッと凝縮したおつゆにワカメ、さらに蒲郡の特産食材がトッピングされたご当地うどんが「ガマゴリうどん」。「全国ご当地うどんサミット2017」などで三冠を達成して話題に。現在、蒲郡市内25店舗で提供中。

蒲郡商工会議所 TEL:0533-68-7171

五平餅

ご飯をつぶして細長い板ににぎりつけ、火であぶって赤みその甘だれを塗り、さらにこんがり焼上げた郷土料理。赤みそのほか、エゴマやクルミを使ったたれもあります。地域やお店によって、たれの味が異なるのも楽しい。豊川用水水源地の奥三河全域などで食べられます。



syoku wo tanoshimu
食を楽しむ。

豊川用水の沿線地域には、個性のあるおいしいものがいっぱい！その一部をご紹介します。



豊川いなり寿司

身近で親しみやすい名物「豊川いなり寿司」。とよかわブランドに認定され、NPO法人「みんなで豊川市を盛りあげ隊」が地域団体商標を取得。「豊川いなり寿司」として、市内約70店舗で提供しています。昔ながらのものから工夫を凝らしたトッピングがあるものまで多種多様な味わいが揃います。

豊川市観光協会 TEL:0533-89-2206



奥三河高原ジビエ

野趣あふれるおいしさで最近注目を集めているジビエ(野生の鳥やけもの肉)。設楽町津具地区にある「奥三河高原ジビエの森」では、奥三河でとれた鹿肉と猪肉を真空・冷凍パックで販売。鹿肉は赤身が多くて柔らかく、猪肉は甘い脂がしっかり乗ってうまみも満点！

奥三河高原ジビエの森 TEL:0536-83-2114



移住者
INTERVIEW
01

特産のセリサイトで無添加化粧品づくり体験を実施。
地域の人々のアイデアをいっしょに形にしたい。

● 東栄町観光まちづくり協会メインコーディネーター 大岡 千紘さん 東栄町



2003年、地域おこし協力隊として東栄町にやって来た大岡千紘さん。現在は、東栄町観光まちづくり協会の職員として活動をしています。特に注目されているのは、東栄町特産のセリサイト（絹雲母・粘土鉱物の一種）を使った手づくりコスメ体験ができる「naori事業」。地元企業とのコラボで展開している事業です。「来た直後は、自分が発想しなきゃ!と思っていたのですが、この出会いで『地域の中にあるアイデアを掘り出して、

みんなで取り組めたらいいな』と考えるようになりました。」事業を始めて1年、訪れた人は1000人を越えるそう。リピーターもだんだん増えています。「どんなにすてきな観光施設があっても、暮らしている人の毎日が楽しくなさそうだったら、お客様は来てくれない。まずは地元の人々が笑顔になることで、町全体が盛り上がっていくはず。私も町民の1人として、楽しみながら、息の長い活動をしていきたいと思っています。」



(左)無添加コスメは使い心地ばつぐん!近隣の都市部から多くの女性が訪れます。(中)ファンデーションのほか、フェイスパウダーやチーク、リップクリーム、バスボムなども作れます。(右)訪れる女性たちを笑顔にできる、楽しい体験のひとつを提供しています。



大好きな居場所と出会った若者たちの、
山里の暮らし
INTERVIEW

都市にはないゆったりした風景に、ここで出会いました。
豊かな自然に囲まれて生きるよろこびを、ここで感じました。
人々つながりあう安らぎに、ここで気づきました。
ここが好き。だからここで生きて行く。山里の新しい住民たちは、
自由な感性を生かして、水源の森を、暮らしを、受け継いでいきます。



移住者
INTERVIEW
03

大切な家族とやりがいある仕事、そして豊かな自然。
どれもあきらめず、元気いっぱい毎日を楽しむ。

● 漫談家・イベント司会 さやか 結さん 設楽町



言葉で笑顔を咲かせるしゃべりのプロ、さやか結さん。設楽町を拠点に各地に出張営業する漫談家として活動しています。「子どもを田舎で育てたいという気持ちがあり、豊田市出身の夫が『田口に住んでもいいんだよ』と言ってくれたので、家族で帰って来ました。設楽町は本当に暮らしやすい場所だと、あらためて実感する毎日です。空気も水もきれいだし、緑も豊かだし。仕事も、どうなのか不安だったのですが、なじみの業者さんが

変わらずかわいがってくださるので、今まで通り続けています。」と、さやかさん。家族の助けも借りながら、仕事に子育てにと充実した毎日を送っています。「今は東海エリアを中心に仕事をしていますが、子どもが大きくなったら、東京の寄席にも出てみたい。これからはずっとここに住んで、やりたいことをやっていきたいと思っています。『田舎に住んでも夢はかなえられるよ』という体現者になれたら嬉しいですね。」



(左) 学生時代にお笑い劇団に参加。友人とコンビを組んで、漫才をしていました。(中) 実家は洋品店。家族に支えられながら仕事に子育てに奮闘する充実した毎日。(右) 倉庫を改装したスペースでライブ活動を展開。遠方から訪れる観客もみえます。



移住者
INTERVIEW
02

初めての山里暮らし、初めての農業経営。
地域の担い手としての期待にも応えたい。

● トマト農家 林 知宏さん 新城市



移住前は、名古屋市でサラリーマン生活を送っていた林知宏さん。のどかな地域でゆったり農業に取り組みたいと、2014年に新城市作手地区に移住しました。「正直言って、入ってみたら、ゆったり暮らすというのは甘かったかな、と、思いました。でも、農業って手をかければかけただけ良い結果を得られる仕事なので、そこが魅力です。」地区でもっとも若い世代となる林さん。集落の新しい担い手としても頼りにされています。「お祭や消防団

などに参加しています。近所の皆さんが丁寧に教えてくださるから、どうかやられています、高齢化が進んでいるので、若い人に入ってもらいたいと感じますね。」移住から2年たって、自宅も新築した林さんご一家。家族3人で作手に根を張ろうとしています。「今後は、仕事をもう少し拡大して、栽培だけでなく加工の方にもチャレンジしたい。毎日が勉強の精神でがんばっていきたくと思っています」



(左) 春から秋にかけては、畑仕事は大忙し。アルバイトさんにも手伝ってもらって作業しています。(中) 作手産の新鮮なトマトは甘くてさわやかな風味。丁寧に手を掛けて育てます。(右) 愛娘の千晴ちゃんもトマトが大好き!お母さんと一緒にハウスに行くのが楽しみ。



移住者
INTERVIEW
05

山のきれいな水を活かしてのチョウザメ養殖。
息の長い活動を地域の中で続けていきたい。

● 豊根村地域おこし協力隊 久保田 智也さん(左)&横山 雄大さん(右) 豊根村



2012年、水産業で新しい村の魅力を作ろうと始まった豊根村のチョウザメ養殖。久保田智也さんと横山雄大さんは、地域おこし協力隊員としてこの活動に参加しています。「2人とも、魚の飼育が好きで、6次産業に興味があったことから豊根村に移住しました。養殖を手がける村の人に教えてもらいながら仕事をしています。」と、在村2年目の久保田さん。チョウザメは成長が遅く、キャビアがとれるようになるまでは約10年か

かります。養殖が本格的に始まって7年たちますが、「キャビアができるまで後3年。協力隊の任期の来年までには実現できないので、村で自立して暮らしていきたいと、アマゴの養殖も始めました。」一方、村に来て2ヶ月の横山さんはまだ初めてのことばかり。「きれいな空と森に囲まれて働いていると幸せだなと実感します。早く一人前の村人になりたい。」山里が挑む水産事業。2人のチャレンジは今日も続きます。



(左)チョウザメはきれいな水を好むため、川の水を掛け流しで使用。(中)成長途上のチョウザメ。現在4000匹ほどを育てます。(右)チョウザメは食肉にもなります。村内4か所で提供中。写真はお寿司。



移住者
INTERVIEW
04

豊かな自然と地域の絆、あたたかな結びつき。
暮らしを自分の手で作る丁寧な生き方に共感。

● 体験型ゲストハウスdanon(だのん)経営 金城 愛さん 東栄町



「愛知県の『愛知の山里で暮らそう80日間チャレンジ』という緊急雇用のプログラムで東栄町に来ました。その時、住民の皆さんの丁寧な生き方に感銘を覚え、定住することを決めました。今は、古い民家をお借りしてゲストハウスを経営しています。」沖縄出身の金城愛さんは、東栄町生活5年目。「体験型ゲストハウスdanon」は2年前にオープンしました。地元の食材を使ってお客さん全員で料理を作ったり、相部屋で寝たりと、友達のように泊

まりに行くような感覚で利用できる宿です。「自然が好きで、お祭りが好きで、田舎暮らしに興味のある方など、いろいろな方が訪れてくれるのは本当に嬉しい。ここに何度か通ううちに地域の方々と仲良くなったり、奥三河を好きになってくれる人もみえます。この宿を入口に、奥三河、東栄町のファンが増えてくれればすばらしい。東栄町の住民の1人として、この町で暮らすことの魅力を発信していければと思っています。」



(左)玄関を入ると、花祭りで使う飾りが迎えてくれます。(中)食事は宿泊客がいっしょに作っていっしょに食べる。会話が盛り上がります。(右)沖縄出身の金城さん。人とのつながりを大切に、地域の中で暮らしています。



1951年、渥美地域の熱い要望に応じて開学。地域を支える未来の農業者の育成を担っています。農業科、施設園芸科、食品科学科、生活科学科の4つの学科が設置されています。就農率は全国でも上位に位置しています。校章は働き蜂。「知恵を持って働く」という意味が込められています。



ぼくらの世代が受け継ぐ水。
新しい時代に向かって流れる豊川用水



渥美農業高校座談会

掘って水をためていたと聞きました。ため池に水をくみに行き、自分で運んで来た。今は畑で蛇口をひねれば出てくるけど、自分でくんでくるのはすごい重労働だと思っただったら、最初のうちはがんばれるかもしれないけど、だんだん疲れて来ちゃうんじゃないかな。

荒木 水が思うように使えなかったと聞きました。池に水をためても、全体的に量が足りないのです、使う量が制限されていたということでした。

早崎 水場の近くで苗を育て、ある程度大きくなってから自分の畑に持って来て、定植するという流れで作物を作っていたそうです。

濱田 ため池の他に、地下水も使ったと聞きました。

宇治野 僕はこの地域の出身ではないので、先生から教えてもらいました。今、田原市が、キャベツや菊の全国有数の産地になっているのは豊川用水のおかげだと思います。

●豊川用水について勉強したことはありますか。

濱田 小学生の頃、浄水場まで見学に行ったことがあります。

荒木 社会科の時間に習ったよね。ダムのこととか、豊川用水がどんなふうに地域に役立っているかとか。



(参加者の皆さん)
後列左から
宇治野優也さん、濱田真一郎さん、中村一輝さん、
荒木亨さん、校長・鈴木尚先生、眞壁薫先生
前列左から
早崎天翔さん、渥美紗希恵さん、矢野有紗さん



水はどこから来るんだろう。そんなこと考えたことがなかった。蛇口をひねれば水が出る。そんなことあたりまえだと思っていた。豊川用水ってなんだらう。誰が考え、どうやって造ったんだらう。50周年をきっかけに、みんなで話してみよう。そうしたら見えてきた、農業を支える用水の大切さ。実りという夢を現実にするために、がんばり抜いた人々がいたこと。そのがんばりがあったから、今の農業があるのだということ。ぼくらは今、18歳。これからの時代を生きていく。50年前に生まれた豊川用水を活かし、次の世代へ渡すために。

●豊川用水が通水する前のことを知っていますか。

矢野 今までは聞いたことがなかったけれど、この座談会をきっかけに調べてみました。水が少なくて育てられるイモや麦を作っていたと知りました。

渥美 雨が少ないので、ため池を

渥美 私は学校から宇連ダムを見学に行ったことがあります。その時、ダムの話とか、豊川用水の仕組みの話が聞きました。

早崎 宇連ダムにはぼくも行ったな。でっかくてびっくりした。その頃は、豊川用水が自分たちの暮らしにどんなふうに関わっているか知らなかったから、単純に「すごい」と感じただけだったけど。

矢野 私は、豊川用水の源流は豊川で、宇連ダムで川をせき止めて、渥美半島まで引いていると思っていました。実は静岡県の天竜川の水も来ているということを知り、機会がありました。ちょっと意外な感じがしました。

●豊川用水を意識したことがありますか。

矢野 普段はあまり意識したことがありませんでした。家の水道と同じように、畑で蛇口をひねれば水が出るのがあたりまえだと思ってた。

宇治野 外の水道に蛇口が2つあって、「農水」「上水」と書いてある。先生が、「これは農水を使って」とか言うから、飲む水と畑にやる水は別なのかな、とは感じていたけれど。

校長先生 飲み水も豊川用水を



カクメロ温室作業

●農業の楽しさはどんなことですか。
濱田 収穫した時の喜びが最高。

なことができるかなあ。
校長先生 山に雨が降って、川になって、産業や暮らしの中で使われて、海に流れ込んでいく。そして蒸発して雲になり、また雨が降る。そういう循環の中でみんなは生きていくんだ。目の前にあるものだけでなく、広い視野を持っていろいろな面を見て、感謝の気持ちを持つことはすごく大切なことだよ。感謝の気持ちを持っただけでは何もできないと思うかもしれないけれど、そういう気持ちを持つ人が大勢いることで、何かが変わるかもしれない。水に限らず、「ありがたい」という思いをいろいろなことに対して持つことはとても大事なことだね。

早崎 ぼくが小学生の頃だと思っただけで、湯水でプールが中止になったことがあります。その時には、畑でも水の使用に規制がかかったので、両親が心配していました。
渥美 私の家では、キャベツを植える時に水をたくさん使います。キャベツの定植のシーズンになって水かけをする時が来ると、両親が宇連ダムの貯水率を気にするようになるので、私も意識します。

濱田 豊川用水って、ふだん使っている時は意識しないけど、水不足になると気になってくる。水が足りないということがテレビのニュースで流れると「大丈夫かな」と心配になります。それで、水を無駄にしないように気をつけようと思うんだけど、どうすればいいのかがよくわからない。水道の水を出しっぱなしにしないとか、あたりまえのことしか考えつかなくて。特に農業用水の方は、節水の仕方がわからないので、ドキドキします。

使っているんだよ。消毒などの方法が異なるだけ。それから、みんなも意識はしなくても言葉で使い分けられているはずだよ。先生から、「畑かんしておいて」と指示されることがあるでしょう。「畑かん」は農業用水のことだから。

収獲して、箱につめて、出荷するという一連の流れにすごい充実感を感じます。
矢野 青空市で、自分たちが一生懸命育てた野菜や果物を買ってもらえるとすごく嬉しい。食べて、「おいしい」と言ってくれるのも嬉し。作ってよかったなと感じます。
荒木 自分が育てた作物を収穫する喜びはなんともいえません。だからこそ、農業に携わらない人たちが気軽に農業体験できるようにな機会を作っていくべきだと思う。



作業内容は頭に入っている



ひとつの作業も丁寧に



菊の苗を育てる

●水源地在抱える問題について知っていますか。
矢野 あまり考えたことがないです。どんな問題があるんだろう。校長先生 豊川用水の水源地にはいくつもの市町村があって、林業を営んで、水の源になる山を守っている人たちが暮らしてきた。だけど、林業がうまくいかなかった。暮らしが成り立たなくなってきた。暮らして行けなくなり、高齢化が進んで、林業の担い手がいなくなりつつある。良い木材を育てるためには、山の手入れが必要なんだけど、高齢化や過疎化が進んでそれができないから、山がどんどん荒れてきている。今、田原市はキャベツや菊の栽培で栄えているけれども、それと反比例して水源地はずれていく。上流から見れば不公平に感じられるから、怒っている人も大勢いるんだよ。
矢野 すごく難しい…。でも、とても重要な問題だと思います。農家に限らず、受益地に住んでいる人

早崎 僕も同感だな。農業の魅力をもっと多くの人に伝えたい。ひとりだけでなく、地域ぐるみで活動をして、広めていくことが大切だと思います。
宇治野 ぼくたちみたいに、農業に興味を持って農業高校を選んだ人は別として、他の高校に行っている人たちは、農業の知識なんかまったくないと思う。自分が食べるもの、それは考えるけど、食材を誰が作っているか、とか、意識の外だよな、たぶん。そういう壁を越え



食品科学科の授業



四角いメロン・カクメロ(模型)



カクメロの金属枠

もみんな協力して何かしていかないといけない。そうしないと、いつか、遠い未来かもしれないけど、豊川用水にきれいな水が流れ込まなくなると、田原市でも今のようない農業ができなくなるかもしれない。渥美 ダムを造る時、たくさんの民家がダム湖の底に沈んでしまったと聞いています。そういうことを考えると、水を安定して使えないということに感謝しなければいけないと思います。水はあたりまえに出てくるわけじゃない。いいことの後ろには大変なこともあるんだ。もつとありがたいと思っていかなければいけないと思います。
中村 先生の話聞くまでは、上流がどうなっているか全然知らなかったけど、すごく大変なことになっている。今、僕たちが何かしないといけないと思う。だけど、ど



メロン栽培の実習

とというか、もつと農業のことを地域の人に知ってもらえるような仕組みを作っていく必要がある。消費者も含めて地域全体で、農業のこととか水のことを知って、いろいろなことに取り組んでいかないと。メロン狩りとかイチゴ狩りみたいに、農業と観光を結びつける動きをもつと盛り上げていって、消費者に、農家と一緒に農業をしてもらえるようにできたらいいと思う。農業とサービス業を融合させたような新しい私たちの追求というか、6次産業化も積極的に進めるべきだと感じます。
中村 ぼくもそう思う。自分たちが農業高校に通っていて、農業の良さを実感している。その良さをぼくたちから発信して、どんどん体験してもらえば、それきつかけに新しく農業を始めた人と感じる人が出てくるかもしれない。農業の魅力を伝えつつ、自分たちも良さを実感しながら農業をしていくのいいと思う。何十年もかけて、苦勞して用水を造った人がいて、それから50年の間に豊川用水を活かして農業を発展させた人がいて、今のぼくたちがいる。そのことを忘れずに、水と農業を受け継いでいきたい。

豊川用水を知る 基礎知識

【**暗渠**】あんきょ
覆いをしたり地下に設けた水路
↓開渠

【**右岸／左岸**】うがん／さがん
水が流れる方向(下流)を向いて、右手側を右岸、左手側を左岸という

【**改築**】かいちく

施設の老朽化や安全性向上のために全部または一部を新しくつくりなおすこと

【**灌漑**】かんがい

農作物の生育に必要な水を、水路を引くなどして供給し、耕作地をうるおすこと

【**監査廊**】かんさろう

ダム堤体内部に、完成後の監査、各種の測定、堤体および基礎の排水、ゲート操作などを行うために設けられた通路

【**幹線水路**】かんせんすいろう

主要な用水路または排水路。水を必要とする地域の全体の水量を流す事ができる水路
↓支線水路

【**洪水導入**】こうずいどうにゅう
大雨などにより川の流量が多くなった時に調整池に貯留するために河川から取水すること

【**サイホン**】さいほん

河川や道路、鉄道などの障害物を横断するときに、ポンプ等の動力を利用せず、上下流の水位差を利用して障害物を回避するための施設。水路が障害物の上を越える構造をサイホン、下をくぐって避ける構造を逆サイホンといい、豊川用水では二川サイホン(逆サイホン)など多数ある

【**支線水路**】しせんすいろう

幹線水路から枝分かれして、ほ場(田畑)や水道用水、工業用水の浄水場に水を送るための水路
↓幹線水路

【**自然流下方式**】しぜんりゅうかほうしき

水を地盤の高低差を利用して流すこと
↓ポンプ加压方式

【**取水口**】しゆすいこう

河川などから水を取り入れるために設ける施設

【**水位調節ゲート**】すいちようせつげーと

分水工から支線水路へ安定した水量を送るため、幹線水路の区間毎に設けられる水位調

整をするための水門で、チェックゲートとも呼ばれる



本館チェックゲート

【**水系**】すいけい

同じ流域内にある河川、湖沼、水路の総称。級水系、二級水系などがある。その名称は、本川名をとって豊川水系、天竜川水系などという呼び方が用いられている

【**水源地**】すいげんち

川などの流れが出てくるおおもとの土地。または用水として利用する水の供給源となっている場所

【**水道水の高度処理**】すいどうすいのこうたしり

凝集沈殿とろ過による通常の浄水処理に加え、オゾン、活性炭などを利用して臭いの元物質やトリハロメタンなどを取り除く浄水処理

【**石綿管**】せきめんかん

天然の鉱物繊維である石綿(アスベスト)をセメントに混合し

て製造した管。石綿管は経年劣化による急激な強度低下や

アスベストの健康被害に對しての社会問題化から豊川用水では塩ビ管などに入れ替えた

【**調整池**】ちようせいち

雨が降って川の水量が急激に増えたときに、その水を有効に貯留するための施設。また、豊川用水ではダムから渥美半島の先端まで水が届くのにおよそ1日かかるため、幹線水路の途中にある調整池を使い、下流までの水を送る時間を短縮できるという効果もある

【**貯水池**】ちよすいち

水を貯める目的で造られる池。ため池とも言う

【**頭首工**】とうしゆこう

河川などから農業用水などを水路へ引き入れるための施設



牟呂松原頭首工

【**導水路**】どうすいろう

水が必要な目的地まで導くた

めの水路

【**土地改良区**】とちかairyōく
土地改良法に基づき、農業用の用排水路・ため池等のかんがい施設、農道、ほ場(田畑)の整備や、維持管理を行うため、農業者により組織される団体

【**分水工**】ぶんすいこう

水路などから送られた水を所定の地域に所定の分量で分配するための施設

【**流域**】りゅういき

一つの河川に、降水等が表流水となって集まってくる範囲

【**流域変更**】りゅういきへんこう

一つの流域の中で必要な水量が得られないとき、他流域から導水・分水などを行い、水量を確保すること。豊川用水では天竜川流域の大入頭首工、振草頭首工から流域変更して宇連ダムに貯留し、天竜川の佐久間ダムから流域変更して宇連川に導水している



大入頭首工

そして、水は未来へ。

通水以来50年、田畑をうるおし、ものづくりを支え、地域に暮らす人々の笑顔を

ずっと見守り続けてきた豊川用水。

先人の壮大な発想と優れた技術が

地域を成長させてきました。

その成長のバトンを受け取るのは、

次の時代を生きる若者達。

水の流れを手から手へ、そして心から心へ。

人の絆を結びながら、豊川用水の「今まで」は、

「これから」へとつながっていきます。

